ブレイズ ET

取扱説明書

* このユーザーズマニュアルと製品には印刷上の誤りあるいは技術的な誤りがある可能性があります。また、性能の改善などのために予告なしで変更される可能性があります。
* このユーザーズマニュアルと製品は著作権法によって保護されています。
* 記載の製品名、ソフトウェア名は、一般にその会社の登録商標または、商標です。

目次

[1.はじめに 1](#_Toc519002951)

[1.1 主な機能 1](#_Toc519002952)

[1.2 内容物 2](#_Toc519002953)

[1.3 ハードウェア仕様 2](#_Toc519002954)

[2.各部の名称と機能 3](#_Toc519002955)

[本体操作パネル 3](#_Toc519002956)

[本体側面 4](#_Toc519002957)

[2-1外観 5](#_Toc519002958)

[2.2ヘルプモード 5](#_Toc519002959)

[2.3 操作パネルのボタン 5](#_Toc519002960)

[電源ボタン： 5](#_Toc519002961)

[情報ボタン： 5](#_Toc519002962)

[ホームボタン： 5](#_Toc519002963)

[OCRボタン： 5](#_Toc519002964)

[上下左右の矢印ボタン： 6](#_Toc519002965)

[OKボタン： 6](#_Toc519002966)

[キャンセルボタン： 6](#_Toc519002967)

[メニューボタン： 6](#_Toc519002968)

[レビューボタン： 6](#_Toc519002969)

[テンキー： 6](#_Toc519002970)

[2.4 本体側面のボタンやスイッチ 6](#_Toc519002971)

[2.4.1左側面 6](#_Toc519002972)

[音声コントロールボタン： 6](#_Toc519002973)

[音声設定のプラスボタンとマイナスボタン： 7](#_Toc519002974)

[SDカードスロット： 7](#_Toc519002975)

[2.4.2右側面 7](#_Toc519002976)

[録音ボタン： 7](#_Toc519002977)

[キーロックスイッチ： 7](#_Toc519002978)

[リセット： 7](#_Toc519002979)

[2.4.3下側面 7](#_Toc519002980)

[イヤホンジャック 7](#_Toc519002981)

[マイクロUSBポート 8](#_Toc519002982)

[マイク端子 8](#_Toc519002983)

[2.4.4 上側面 8](#_Toc519002984)

[ストラップ取り付け用の穴 8](#_Toc519002985)

[2.5背面 9](#_Toc519002986)

[3.ご使用前の準備 10](#_Toc519002987)

[3.1バッテリーの取り付けと取り外し 10](#_Toc519002988)

[3.2 充電 10](#_Toc519002989)

[3.3 電源操作 11](#_Toc519002990)

[3.4 SDカードの取り付けと取り外し 11](#_Toc519002991)

[3.5 コンピュータに接続 12](#_Toc519002992)

[3.6 フォルダ 12](#_Toc519002993)

[4．基本操作 14](#_Toc519002994)

[4.1 ホームメニューの構造 14](#_Toc519002995)

[4.2 音量その他の設定 14](#_Toc519002996)

[4.3 日付と時刻の確認 15](#_Toc519002997)

[4.4 状態の確認 15](#_Toc519002998)

[4.5 キーロック 15](#_Toc519002999)

[4.6 読み上げ停止 16](#_Toc519003000)

[4.7 クイック起動コマンド 16](#_Toc519003001)

[4.8 メニュー、ダイアログおよび編集ボックスについて 16](#_Toc519003002)

[4.8.1 メニュー 16](#_Toc519003003)

[4.8.2 ダイアログボックスの使い方 17](#_Toc519003004)

[4.9数字パットを使った文字入力 17](#_Toc519003005)

[5.ファイル管理 21](#_Toc519003006)

[5.1 ファイル管理の実行と終了 21](#_Toc519003007)

[5.2 コンテンツの検索・選択・実行 21](#_Toc519003008)

[5.2.1 ファイル管理のコマンド 22](#_Toc519003009)

[5.2.2 よく使うナビゲーション操作 23](#_Toc519003010)

[5.2.3 情報の閲覧 23](#_Toc519003011)

[5.2.4 複数項目選択 24](#_Toc519003012)

[5.2.5 コンテンツを開く 25](#_Toc519003013)

[5.3 ファイルとフォルダの管理 25](#_Toc519003014)

[5.3.1 コピー 25](#_Toc519003015)

[5.3.2 切り取り/移動 26](#_Toc519003016)

[5.3.3 削除 27](#_Toc519003017)

[5.3.4 ファイル・フォルダの名称変更 27](#_Toc519003018)

[5.3.5 フォルダ作成 27](#_Toc519003019)

[5.3.6 ZIPファイルに圧縮 28](#_Toc519003020)

[5.3.7　ZIPファイルの解凍 28](#_Toc519003021)

[6.メディアプレーヤーで音声データの再生 30](#_Toc519003022)

[6.1 対応するメディアファイル 30](#_Toc519003023)

[6.2 オーディファイルの再生 30](#_Toc519003024)

[6.2.1音楽データの再生 30](#_Toc519003025)

[6.3 再生と一時停止 31](#_Toc519003026)

[6.4 再生中のファイル情報 31](#_Toc519003027)

[6.5 トラックの移動 31](#_Toc519003028)

[6.6 再生位置の移動 31](#_Toc519003029)

[6.7 移動単位の変更 32](#_Toc519003030)

[6.8 特定の場所へ移動する 32](#_Toc519003031)

[6.8.1 特定の再生時間へ移動する 32](#_Toc519003032)

[6.8.2 パーセントで移動 32](#_Toc519003033)

[6.8.3 特定のトラックへの移動 33](#_Toc519003034)

[6.9 メディア再生設定 33](#_Toc519003035)

[6.9.1 ボリューム、速度、イコライザーの設定 33](#_Toc519003036)

[6.9.2 シャッフル再生のオン/オフ 34](#_Toc519003037)

[6.9.3 リピート再生設定 34](#_Toc519003038)

[6.9.4 イコライザー設定 34](#_Toc519003039)

[6.9.5 メディア設定 34](#_Toc519003040)

[6.10 マーク 35](#_Toc519003041)

[6.10.1ブックマークの挿入 35](#_Toc519003042)

[6.10.2 音声マークの挿入 36](#_Toc519003043)

[6.10.3 ハイライトマークの挿入 36](#_Toc519003044)

[6.10.4 マークへ移動する 37](#_Toc519003045)

[6.10.5 マークの削除 37](#_Toc519003046)

[6.11 エクスプローラーの使用 37](#_Toc519003047)

[6.11.1 一般ナビゲーション 38](#_Toc519003048)

[6.11.2 特定の項目への移動. 38](#_Toc519003049)

[6.11.3 リスト内のファイルからフォルダへ移動 38](#_Toc519003050)

[6.11.4 ファイルとフォルダ情報の確認 39](#_Toc519003051)

[6.12　音楽再生中の操作 39](#_Toc519003052)

[7.ブックリーダーで読書 40](#_Toc519003053)

[7.1　対応している文書ファイル 40](#_Toc519003054)

[7.2　コンテンツの選択と再生 40](#_Toc519003055)

[7.3　ナビゲーション 41](#_Toc519003056)

[7.4　簡易移動 42](#_Toc519003057)

[7.5　指定移動 43](#_Toc519003058)

[7.5.1　時間を指定して移動 43](#_Toc519003059)

[7.5.2　パーセンテージ指定移動 43](#_Toc519003060)

[7.5.3　見出し指定移動 43](#_Toc519003061)

[7.5.4　ページ指定移動 44](#_Toc519003062)

[7.5.5　追加移動機能 44](#_Toc519003063)

[7.5.6　文字列検索 44](#_Toc519003064)

[7.6　閲覧中の図書またはファイルの情報確認 45](#_Toc519003065)

[7.7　マーク 46](#_Toc519003066)

[7.7.1　ブックマークの挿入 46](#_Toc519003067)

[7.7.2　音声マークの挿入 46](#_Toc519003068)

[7.7.3　ハイライトマークの挿入 47](#_Toc519003069)

[7.7.4　マークへ移動 47](#_Toc519003070)

[7.7.5　マークの削除 48](#_Toc519003071)

[7.8　音量と速度の設定 48](#_Toc519003072)

[7.9　DAISYモードの切り替え 49](#_Toc519003073)

[7.10　エクスプローラー 49](#_Toc519003074)

[7.10.1　エクスプローラーの実行と終了 49](#_Toc519003075)

[7.10.2　エクスプローラーでの操作 50](#_Toc519003076)

[7.10.3　指定した項目へ移動 50](#_Toc519003077)

[7.10.4　ファイルリストとフォルダリスト間の移動 50](#_Toc519003078)

[7.10.5　ファイルとフォルダの情報確認 51](#_Toc519003079)

[7.11　DAISYと文書の設定 51](#_Toc519003080)

[7.11.2　音声設定 52](#_Toc519003081)

[7.12　文書や図書再生中の操作 52](#_Toc519003082)

[8.FMラジオを楽しむ 53](#_Toc519003083)

[8.1 ラジオの再生 53](#_Toc519003084)

[8.2 ラジオの音量調整 53](#_Toc519003085)

[8.3 周波数のナビゲーション 53](#_Toc519003086)

[8.4 放送局のチャンネル登録 53](#_Toc519003087)

[8.4.1放送局の自動スキャン 54](#_Toc519003088)

[8.4.2周波数を指定して移動 54](#_Toc519003089)

[8.5 内蔵スピーカーの使用 54](#_Toc519003090)

[8.6 ラジオの録音 55](#_Toc519003091)

[8.7　FMラジオの操作 55](#_Toc519003092)

[9 録音 56](#_Toc519003093)

[9.1　録音する 56](#_Toc519003094)

[9.2　録音したデータの再生 56](#_Toc519003095)

[9.3　録音したデータの検索と削除 57](#_Toc519003096)

[9.4　録音設定（オプション） 57](#_Toc519003097)

[9.4.1　録音方法 58](#_Toc519003098)

[9.4.2　録音音質 58](#_Toc519003099)

[9.4.3　録音ソース 58](#_Toc519003100)

[9.4.4　マイクの感度 58](#_Toc519003101)

[9.4.5　録音の警告設定 59](#_Toc519003102)

[9.4.6　録音をディスクに保存 59](#_Toc519003103)

[9.5　DAISY形式の録音 59](#_Toc519003104)

[9.6　録音操作 59](#_Toc519003105)

[10 OCRで印刷物の情報を読み上げる 60](#_Toc519003106)

[10.1 OCRの起動と終了 60](#_Toc519003107)

[10.2 写真撮影 60](#_Toc519003108)

[10.2.1 OCRスタンドを使わずに撮影する方法 60](#_Toc519003109)

[10.2.2 スタンドを使って撮影する方法 61](#_Toc519003110)

[10.2.3 OCR撮影補助機能 61](#_Toc519003111)

[10.3 写真の連続スキャン 62](#_Toc519003112)

[10.4　保存するファイル名の形式 63](#_Toc519003113)

[10.5 OCR結果の読み上げ 63](#_Toc519003114)

[10.5.1 OCRメニューからデータを選んで読み上げる 64](#_Toc519003115)

[10.5.2 エクスプローラーからデータを選んで読み上げる 64](#_Toc519003116)

[10.6 画像ファイルのOCR認識 64](#_Toc519003117)

[10.5.1 撮影した画像ファイルを解析する 64](#_Toc519003118)

[10.5.2 外部の画像ファイルを解析する 65](#_Toc519003119)

[10.6 OCRの設定 65](#_Toc519003120)

[10.6.1 フラッシュのオン/オフ 65](#_Toc519003121)

[10.6.2 画像ファイルの処理 65](#_Toc519003122)

[10.6.3 テキストファイルの処理 66](#_Toc519003123)

[10.6.3 画像ファイルを全て削除 66](#_Toc519003124)

[10.6.4 テキストファイルを全て削除 67](#_Toc519003125)

[11 Webラジオで世界中のラジオを楽しむ 68](#_Toc519003126)

[11.1 チャンネル一覧 68](#_Toc519003127)

[11.1.1 Webラジオのメニュー 68](#_Toc519003128)

[11.1.2　データベース検索 68](#_Toc519003129)

[11.2 登録したチャンネルの削除 69](#_Toc519003130)

[12 Podcastを聴く 71](#_Toc519003131)

[12.1フィード一覧 71](#_Toc519003132)

[12.1.1フィードからPodcastを再生する 71](#_Toc519003133)

[12.1.2 フィードに登録したPodcastを削除する 71](#_Toc519003134)

[12.2ポットキャストのメニュー 72](#_Toc519003135)

[12.2.1 フィードを更新 72](#_Toc519003136)

[12.2.2 ポットキャストを検索 72](#_Toc519003137)

[12.3 その他のPodcast購読方法 73](#_Toc519003138)

[12.4 再生中の操作 73](#_Toc519003139)

[12.4.1 基本操作 73](#_Toc519003140)

[12.4.2 再生中のメニュー 73](#_Toc519003141)

[13 DAISYオンラインで本を探す 75](#_Toc519003142)

[13.1 ログイン 75](#_Toc519003143)

[13.2 DAISYオンラインの検索メニュー 75](#_Toc519003144)

[13.2.1前回の検索結果一覧 76](#_Toc519003145)

[13.2.2図書検索 76](#_Toc519003146)

[13.2.3雑誌検索 76](#_Toc519003147)

[13.2.4雑誌の定期配信 76](#_Toc519003148)

[13.2.5タイトル削除依頼 76](#_Toc519003149)

[13.3図書検索結果リストの操作 77](#_Toc519003150)

[13.2.7検索結果リストでの操作 77](#_Toc519003151)

[13.2.8図書名ごとの操作 77](#_Toc519003152)

[13.3検索した図書の再生 77](#_Toc519003153)

[13.4 ネット閲覧室 78](#_Toc519003154)

[ネット閲覧室を開く 78](#_Toc519003155)

[新着リスト 78](#_Toc519003156)

[閲覧リスト 78](#_Toc519003157)

[14 ユーティリティ 79](#_Toc519003158)

[14.1　録音 79](#_Toc519003159)

[録音操作 79](#_Toc519003160)

[録音データの再生 79](#_Toc519003161)

[14.1.1 DAISY形式で録音 79](#_Toc519003162)

[14.2 カラーリーダー 80](#_Toc519003163)

[14.3メモ 81](#_Toc519003164)

[14.3.1メモ追加 81](#_Toc519003165)

[14.3.2メモ一覧 81](#_Toc519003166)

[14.4 電卓 81](#_Toc519003167)

[14.5 アラーム 81](#_Toc519003168)

[14.6 スリープタイマー 82](#_Toc519003169)

[14.7 設定の初期化 82](#_Toc519003170)

[14.8 フォーマット 82](#_Toc519003171)

[14.9 アップグレード 83](#_Toc519003172)

[14.10 オーディオCDの再生 84](#_Toc519003173)

[15 オプション 85](#_Toc519003174)

[15.1 一般設定 85](#_Toc519003175)

[15.2 ガイド音声設定 86](#_Toc519003176)

[15.3 通知音設定 87](#_Toc519003177)

[15.4 録音設定 87](#_Toc519003178)

[15.5 日付時刻を設定 88](#_Toc519003179)

[15.5.1手動で日付と時刻を設定する。 88](#_Toc519003180)

[15.6 Bluetooth設定 89](#_Toc519003181)

[15.6.1 Bluetoothのオン/オフ切り替え 89](#_Toc519003182)

[15.6.2 Bluetoothヘッドセットまたはスピーカーの接続 89](#_Toc519003183)

[15.6.3 Bluetoothヘッドセットまたはスピーカーの取り外し。 90](#_Toc519003184)

[15.7 無線LAN設定 90](#_Toc519003185)

[15.7.1無線LANの状態を確認する。 91](#_Toc519003186)

[15.7.2無線LANのオン/オフを切り替える。 91](#_Toc519003187)

[15.7.3無線LANネットワークへの接続。 91](#_Toc519003188)

[15.7.4無線LANプロファイルの削除 92](#_Toc519003189)

[15.8 バッテリー状態確認 92](#_Toc519003190)

[15.9 システムの状態確認 92](#_Toc519003191)

[16 お問い合わせ 94](#_Toc519003192)

# 1.はじめに

ブレイズET OCRマルチプレーヤーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ブレイズETはHIMS製のデジタルオーディオプレーヤーであり、ポータブルOCRマルチプレーヤーでもあります。

小さくて軽いため持ち運びがしやすく、DAISY図書や音楽、文書のデータを再生させたりFMラジオを聴いたりすることができます。また、内蔵の5メガピクセルカメラとOCR機能を使用すれば印刷された文字や写真中の活字を認識させ、読み上げることができます。さらに無線LAN機能を使ってネットワークに接続することで、DAISYオンラインやWebラジオ、Podcastを使用することが可能です。他にも電卓やメモ、アラーム機能も備えています。

## 1.1 主な機能

1. 音楽や、Podcast、録音した音声メモなどの、音声ファイルの再生にはメディアプレーヤーを使用します。
2. メディアプレーヤーには、トラック単位や時間単位などでの移動や再生スピードの調整のほか、プリアンプやイコライザーの設定などを行うことができます。外付けCD-ROMドライブを接続すれば、市販のオーディオCDを聞くこともできます。（市販のオーディオCD再生方法は「14.10オーディオCDの再生）をご参照ください。
3. ブックリーダーを使用すると、DAISY図書や様々な形式の文書データを読むことが可能です。ページやパラグラフ、センテンス、行など、様々な単位での操作が可能です。例えば、読み上げ速度や音量、ピッチ、DAISYオーディオなどの調整などが挙げられます。外付けCD-ROMドライブを使用すれば、CDに収録されたDAISY図書を再生させることもできます。
4. FMラジオを使用すると、チャンネルスキャンやプリセット保存の機能のほかに、録音が可能です。
5. 内蔵カメラを使って、印刷された書類やパンフレット、レストランのメニューなどを撮影すると、OCRを使って文字を認識し読み上げることができます。
6. 内蔵マイクや外付けのマイク、例えばヘッドセットマイクやラインインなどを使用して録音することができます。mp3フォーマットやwaveフォーマットが使用できるほか、マイク感度や録音品質などのオプションを設定することが可能です。
7. Bluetooth接続ヘッドセットを使用すれば、ワイヤレスで音声データや文書再生を聴くことができます。
8. 無線LANに接続してPodcastアプリを使用すれば、コンテンツをダウンロードしてPodcastを聴くことができます。
9. 無線LANに接続してWebラジオアプリを使用すると、世界中の音楽やニュースなどのストリーミングオーディオコンテンツを楽しむことができます。
10. 電源が入っていない状態でも、電源ボタンを押せば日付時刻を音声で案内する機能があります。このほかには、アラームやスリープタイマーが使用できます。
11. ファイルマネージャを使用すれば、コピー、移動、削除、名前変更などのファイル操作ができます。
12. メモや電卓の機能を使うことができます。

## 1.2 内容物

ブレイズETのパッケージには次の内容物があります:

* ブレイズET本体
* 充電式バッテリー
* キャリングポーチ
* ACアダプタ
* PC接続用USBケーブル
* USB 変換アダプタ
* イヤホン
* マニュアルCD（DAISY・word・text）
* 取扱説明書（墨字）
* 簡単ガイド（墨字・点字）
* OCRスタンド

## 1.3 ハードウェア仕様

* ユーザーメモリ (内蔵メモリ): 約12ギガバイト使用可能
* マイクロUSB OTGポート
* SDカードスロット
* FMラジオ
* Bluetooth 3.0
* Wi-Fi (802.11B/G/N, 2.4GHz)
* 5メガピクセル カメラ
* ヘッドホンジャック (3.5ミリ)
* ステレオマイクジャック (3.5ミリ、ラインイン入力をサポート)
* 内蔵ステレオスピーカー
* 内蔵モノラルマイク
* 充電池 (リチウムポリマー、フル充電で継続音楽再生11.5 時間)

# 2.各部の名称と機能

## 本体操作パネル



**電源ボタン**

**情報ボタン**

**操作パッド**

**キャンセルボタン**

**数字パッド**

**ホームボタン**

**OCRボタン**

**レビューボタン**

**メニューボタン**

## 本体側面



**SDカードスロット**

**プラスボタン**

**音声コントロールボタン**

**録音ボタン**

**キーロックスイッチ**

**リセット**

**マイナスボタン**



**ステレオマイクジャック**

**マイクロUSBポート**

**ヘッドホンジャック**

## 2.1外観

ブレイズETの形状は、縦116.7mm、横58.9mmの縦に長い長方形です。厚さは16.3mmで重さは138gあります。

ボタンがたくさんある面が操作パネルです。テンキーが操作パネルの下側になるように本体を持ってください。

操作パネル上部の中央に正方形の電源ボタンがあります。

## 2.2ヘルプモード

＊（アスタリスクボタン）を2秒間長押しでヘルプモードを開始します。

＊は本体の一番左下に位置するボタンです。

ヘルプモードはキー説明のようなもので、どのキーを押してもそのキーの機能を読み上げます。ヘルプモードを起動した状況によって、同じキーを押しても読み上げられる内容は異なります。メディアプレーヤー上でヘルプモードが起動した場合、キーを押した際に読み上げる内容はメディアプレーヤーで使用される場合の説明です。ウェブラジオ上であれば、ウェブラジオで使用される場合の説明を読み上げます。

アスタリスクボタン、キャンセルボタン、ホームボタンのいずれかを押すとヘルプモードは終了します。

## 2.3 操作パネルのボタン



### 電源ボタン：

最上部中央の四角いボタンです。

長押しをするたびに電源オンとオフを切り替えます。

電源オン/オフどちらの状態でも1回短く押すと時刻と日付を読み上げます。



### 情報ボタン：

上から2段目に3つ横に並んだボタンの左側（台形）です。

充電・無線LAN・Bluetoothの状態と現在の日時を読み上げます。



### ホームボタン：

上から2段目に3つ横に並んだボタンの中央（台形）です。

メインメニューのトップである「ファイル管理」を呼び出します。



### OCRボタン：

上から2段目に3つ横に並んだボタンの右側（台形）です。

OCR機能のショートカットボタンです。



### 上下左右の矢印ボタン：

上から3段目に上下左右に並んだ三角形のボタンです。

上下は主にリスト項目を選択します。

左右は主にリスト項目のサブフォルダへ移動と戻るに使用します。

### OKボタン：

上下左右ボタンの中央にある丸いボタンです。

決定ボタンとして使用します。

### キャンセルボタン：

上下矢印ボタンの下に3つ並んだボタンの左側（台形）です。

キャンセルボタンとして使用します。

### メニューボタン：

上下矢印ボタンの下に3つ並んだボタンの中央（台形）です。

各プログラムでメニューを開く。長押しでエクスプローラーを開く（エクスプローラーはファイルを選択する必要のあるプログラムで使用できる機能です。）



### レビューボタン：

上下矢印ボタンの下に3つ並んだボタンの右側（台形）です。

再生中のデータの情報を表示します。

### テンキー：

本体下部に並んだ12個のキー。3列4段で構成されていて、1段目が左から「１」、「２」、「３」、2段目が「４」、「５」、「６」、3段目が「７」、「８」、「９」、4段目が「＊」、「０」、「＃」です。

数字入力や文字入力に使用します。また、各プログラムのショートカットキーとして機能します。

## 2.4 本体側面のボタンやスイッチ

## 2.4.1左側面

### 音声コントロールボタン：

左側面の一番上部のボタンです。

押すたびに「ガイド音声速度」、「ガイド音声高さ」、「ガイド音声音量」を切替えます。それぞれの項目を読み上げた状態で音量の上下ボタンを押すと各設定を調整します。

### 音声設定のプラスボタンとマイナスボタン：

左側面の上から2番目のボタンがプラスボタンです。3番目のボタンがマイナスボタンです。音声コントールボタンで設定した項目について調整します。

### SDカードスロット：

左側面の一番下部にある差込口です。

SDカードの差込口です。

## 2.4.2右側面

### 録音ボタン：

右側面の一番上部にあるボタンです。

長押しすると録音開始、短く1回押すと録音したデータの再生を行います。

詳しくは録音をご参照ください。

### キーロックスイッチ：

右側面の上から2番目のスライドスイッチです。

本体上部にスライドするとキーロックを解除し、下部にスライドするとキーロックを掛けます。

### リセット：

右側面下部にある小さなスイッチです。

本体が予期せぬ動作をし、強制的に再起動したい場合に使用します。

穴の中がボタンになっています。細い棒で押して再起動してください。

※リセットボタンが押しにくい場合や動作しない場合は、本体のバッテリーを取り外して、再度取り付けてください。ブレイズが再起動します。

バッテリーの取り外し方は「2.5背面」、「3.1バッテリーの取り付けと取り外し」をご参照ください。

## 2.4.3下側面

### イヤホンジャック

下側面左側にあります。ジャックの上に突起があります。イヤホンやヘッドホンの端子を接続する差込口です。

### マイクロUSBポート

下側面中央にあります。充電する際にアダプタを接続したり、内部のデータをPCから閲覧したりする際に使用します。

USBメモリや外付けのCD/DVDドライブを接続して使用することも可能です。CD/DVDドライブはACアダプタで電力を供給できるタイプをご用意ください。

### マイク端子

下側面右側にあります。マイクを接続するための差込口です。

## 2.4.4 上側面

### ストラップ取り付け用の穴

中央にストラップを付けるための穴があります。

## 2.5背面

SDカードスロットが右側にくるように本体をひっくり返してください。上部中央にはカメラとフラッシュのライトがあります。その下には下向きの三角形が３本の浮き彫り線で表現されています。この三角形を押さえながら下にスライドさせると、バッテリーカバーが外れます。



**INTERNAL Camera**

**CAMERA Flash**

**BATTERY Pack**

**フラッシュ**

**カメラ**

**バッテリーパック**

# 3.ご使用前の準備

この章では、バッテリーのセット方法や電源操作、充電、データのコピー方法などの操作について説明します。

## 3.1バッテリーの取り付けと取り外し

ご購入時には、輸送中の事故を避けるためにバッテリーは取り外されています。お使いになる前に、まずバッテリーをセットする必要があります。本体背面のカバーを下にスライドさせると充電池の格納場所が開きます。まずキーパッドが裏面でSDカードスロットが右側になるように本体を置きます。前面の上にカメラ、その下に下向きの三角形が３本の浮き彫り線があることを確認します。この三角形を押しながら下にスライドさせ、カバーを外します。

バッテリーをセットするには、まず細い溝がある側面がご自分に向くようにバッテリーを持ちます。次にバッテリーの前面の左下の角あたりにドットがあることを確認してください。バッテリーの下側がまず格納場所の下側に当たるようセットし、バッテリーを押してセットし、カバーをスライドさせながら元の位置にセットします。

バッテリーを取り外すには、まず本体からカバーをスライドさせてはずします。バッテリーの上部に爪のようなものをかけてバッテリーを手前に引き出しで外してください。

## 3.2 充電

充電について説明します。ご購入時はバッテリーには十分な充電はされていない場合があります。お使いになる前にまず充電して下さい。

1)同梱のACアダプタを使用しての充電：

ACアダプタをコンセントに接続してください。次にアダプタケーブル先端のマイクロUSB端子を底面中央のマイクロUSBポートに差し込んでください。フル充電には３時間程度必要です。

2)パソコンに接続しての充電:

同梱のマイクロUSBケーブルを使用してパソコンから充電することもできます。ケーブルの端のマイクロUSB端子を底面のマイクロUSBポートに差し込みます。ケーブルの端の大きな方をパソコンのUSBポートに差し込みます。パソコンからフル充電するには4 時間程必要です。充電中は本体の電源LEDが赤く点灯します。充電が終了すると、充電LEDが緑色に変わります。ACアダプタやコンピュータに接続されていなければ電源LEDは点灯しません。

## 3.3 電源操作

初回にブレイズET の電源を入れる際は、電源ボタンを５秒間押し続けてください。※既にACアダプタを使用してコンセントに接続されているか、または充電済の充電池がセットされていれば、自動起動しますので電源ボタンを長押しする必要はありません。

起動開始をお知らせするビープ音が鳴り、数秒後に「HIMS」という音声と共に起動音が鳴ります。その後、処理進行中を知らせるビープ音が鳴り、電源が入ったことを知らせる音が流れます。

起動完了すると、ホームメニューを表示します。

電源を切るには、電源ボタンを長押ししてください。電源が切れるのを知らせる音が流れたあとに電源が切れます。

以上の手順に従って一度ブレイズETを起動すれば、電源ボタンを長押しすることで簡単に起動します。ただし充電池が完全に消耗したり、ブレイズETがリセットされたりした場合は、初回起動時のように起動に時間がかかるようになります。

## 3.4 SDカードの取り付けと取り外し

SDカードスロットは左側面の下側にあります。

SDカードをセットするには、まずSDカードの角が欠けた側が本体上側になるように持ちます。SDカードのラベルが裏向きになる状態です。ていねいにSDカードをスロットかちっとした感触があるまで差し込んでください。本体が起動した状態であれば、SDカードが認識されたことをお知らせする、"SDカードがセットされました"というアナウンスが流れます。ブレイズETはSDカードにある再生可能なコンテンツを自動検索し、その格納場所をお知らせします。



SDカードを取り外す際には、カチッとした感触があるまでSDカードを丁寧に押し込んでから手を離してください。SDカードがスロットから飛び出しますのでスロットから引き出して下さい。本体が起動している状態であればSDカードが取りはずされたことをお知らせする、"SDカードが取りはずされました"というアナウンスが流れます。

## 3.5 コンピュータに接続

ブレイズ ETの電源を入れてから、同梱のUSBケーブルのマイクロUSB端子をブレイズのマイクロUSBポートに接続し、大きいUSB端子をパソコンのUSBポートに接続してください。「データ転送モードを開始します」と音声で案内します。

パソコンに接続すると、パソコンのエクスプローラーから「ブレイズ」という名前の「メディアデバイス」が表示されます。 「ブレイズ」を選択すると、ブレイズETに保存されたデータが表示されます。ブレイズETにSDカードがセットされていれば、SDカード内のデータも表示されます。Windows のコピー、切り取り、貼りつけ、削除を使用してデータ管理が可能です。

**※注意**: データ転送モード”中は、ブレイズET本体を操作することはできません。ブレイズETのボタンを押しても動作しません。USBケーブルをコンピュータまたはブレイズETから取り外せば、ブレイズET本体の操作ができるようになります。

コンピュータに接続することで、使いなれたコンピュータのファイル操作コマンドを使って、文書ファイルやメディアファイル、DAISY図書、撮影した画像を管理することができます。ブレイズETは再生可能なコンテンツであれば、どの保存場所にあっても、対応プログラムで再生できます。ただし、WebラジオやPodcastのURL情報は内蔵メモリのデフォルトフォルダに保存しておく必要があります。

## 3.6 フォルダ

再生可能データはブレイズET内の特定フォルダに保存する必要はありません。内蔵メモリやSDカードがスキャンされると、再生可能コンテンツは全て認識され、再生されるようになります。例えば, メディアプレーヤー起動中にエクスプローラーボタンを押すと、保存場所に関わらず、全てのメディアコンテンツが使用できるようになります。但し、ブレイズETの特定機能のために、ご購入時に以下のフォルダが自動的に作成されています。

1. OCR: OCRで認識された画像やテキストファイルは以下のOCRサブフォルダに保存されます。

Image:内蔵カメラを使用して撮影された画像を保存します。

Import:他のデバイスからコピーされる画像ファイルはこのフォルダに保存されないとブレイズETが認識できません。

Temporary: 文字認識用に撮影された画像が一時的にこのフォルダに保存されます。

Text : OCR認識の結果ファイルがこのフォルダに保存されています。

1. Podcast: Podcastコンテンツやアドレス情報はこのフォルダ内に保存されています。URL、XML、OPMLも含まれます。ブレイズETからPodcastを購読するには、そのPodcastのアドレス情報をこのフォルダに保存されている必要があります。
2. Radio: FMラジオから録音されたファイルはこのフォルダに保存されます。
3. Record: マイクやラインインで録音した音声はこのフォルダに保存されます。
4. Web radio:ウェブラジオのアドレスはこのフォルダに保存される必要があります。M3uファイルやPLS プレイリスト もこのフォルダに保存しないと認識されません。

# 4．基本操作

## 4.1 ホームメニューの構造

電源を入れると起動音が鳴り、「ファイル管理」と読み上げます。「ファイル管理」がメインメニューの先頭です。下矢印キー押すと以下の順番でメニュー項目を読み上げます。

ファイル管理

メディアプレーヤー

ブックリーダー

ラジオ

OCR

Webラジオ

Podcast

ライブラリサービス

ユーティリティ

オプション

使用したい項目を上下矢印キーで選択し、右矢印キーまたはOKボタンを押すと機能を実行します。ホームメニューに戻るにはキャンセルボタンを押すかホームボタンを押してください。

## 4.2 音量その他の設定

本体左側面にある音声コントロールボタンと音量ボタン（＋・－）を使用して、メディアの再生音量やガイド音声、録音音量を調整することができます。このほかにも再生速度やメディアのプリアンプなど、様々な設定を行うことができます。

これらの設定を行うには、音量ボタンの上にある音声コントロールボタンを押して、設定したい項目に切替えます。次に、音量ボタンを使用して設定値を変更します。

**※注意**

音声コントロールボタンを押さない限り、音量ボタンで調整されるのは主音量です。音声コントロールボタンを押すことで、プログラムごとの音量に関する設定を行う事ができます。音声コントロールボタンを押した後、約１０秒で主音量の調整モードに自動的に戻ります。

状況ごとの設定可能な項目は以下の通りです：

1) ホームメニュー: ガイド音声音量、ガイド音声再生スピード、ガイド音声ピッチ

2) メディアプレーヤー: メディア音量、プリアンプ, メディア再生速度、イコライザー。

3) DAISYテキスト再生時: 読上音声音量、読上速度、読上音声ピッチ。

4) DAISYオーディオ再生時: DAISYオーディオ音量、プリアンプ、DAISY オーディオ再生速度。

## 4.3 日付と時刻の確認

ブレイズの電源ボタンを1回押すことで簡単に現在時刻や日付を確認することができます。日付と時刻の確認は、メニューやプログラムに関係なく使用できます。電源オフの状態でも使用できますが、読上げまでに約３秒かかります。

## 4.4 状態の確認

「情報」ボタンを使用することでブレイズETの状態やその他の項目を確認することができます。「情報」 ボタンを軽く1回押すと、次の項目について状態を連続して読み上げます。

1) 電源の状態:バッテリー充電レベルやACアダプタの接続状況を知らせます。

2) 無線LANの状態:無線LANを使用中かどうか、およびアクセスポイント名、電波の強さなどを知らせます。

3) Bluetoothの状態: Bluetoothが接続済みかどうか、接続済の場合は接続しているデバイス名などを知らせます。

4) 現在の日付時刻：

各項目の状態が読み上げられると、「情報」ボタンを押す前の位置に戻ります。

「情報」 ボタンを２秒間押すと、上記項目のリストに移動します。この状態で上矢印ボタンや下矢印ボタンを操作してリスト中の項目を1つずつ確認することができます。「OK」ボタンを押すと開いている項目に関連した設定ダイアログが開きます。電源状態以外の項目で使用可能です。

例えば, 無線LANの状態で「OK」ボタンを押すと、無線LAN設定ダイアログが開きます。

## 4.5 キーロック

電源を切っている間や音楽や本の再生中などには、間違ってボタンを押してしまわないようにすることができます。本体右側面にあるキーロックスイッチを下げることでキーロックをオンにしてボタン操作を防ぐことができます。キーロックスイッチを上げてキーロックをオフにすればボタンを通常どおり操作することができるようになります。

## 4.6 読み上げ停止

情報読上げには、全部聴く必要がない場合もあります。アスタリスクボタン（＊）を押すと、いつでも読上げを中断することができます。

## 4.7 クイック起動コマンド

全てのプログラムはホームメニューから使用することができますが、ホームメニューの項目を選んでOKを押さなくても、数字パッドを使用したクイック起動コマンドで、簡単に実行することができます。

ホームメニューの各項目は、テンキーの１から０がクイック起動コマンドとして設定されています。数字を押すことで関連づけられたプログラムを簡単に実行できます。

ホームボタンを押してホームメニューを開いた状態で、対応する数字を押せば、簡単に違うプログラムに切り替えて実行することができます。

各プログラムを起動するには以下の数字を使用します：

1) テンキーの1: ファイル管理

2) テンキーの2: メディアプレーヤー

3) テンキーの3: ブックリーダー

4) テンキーの4: ラジオ

5) テンキーの5: ウェブラジオ

6) テンキーの6: Podcast

7) テンキーの7: メモ

8) テンキーの8: 電卓

9) テンキーの9: ライブラリサービス

10) テンキーの0: カラーリーダー

\* OCR読取プログラムにはこれらの数字ショートカットキーは割り当てられていません。キーパッド上部右に専用の起動ボタンがありますので、このボタンを押せばいつでもOCR読取プログラムを起動することができます。

## 4.8 メニュー、ダイアログおよび編集ボックスについて

ブレイズETでは各プログラムの機能を実行するにはメニューを、設定オプションにはダイアログを、そしてテキストの検索や編集にはダイアログボックスを使用します。このセクションでは、これらのコントロールを操作方法や利用方法について解説します。

### 4.8.1 メニュー

ブレイズETのほとんどのプログラムは、プログラムに関連した様々な機能を実行できるようにメニューが存在しています。プログラム実行中にメニューキーを1回押すとメニューを開くことができます。メニューを終了し、メニューを使用する前の状態に戻るにはキャンセルキーを押します。

メニュー操作および実行には以下のキーを使用します：

1)メニューを開く: メニューキー。

2)前のメニュー項目に移動: 上矢印キー。

3)次のメニュー項目に移動: 下矢印キー。

4) 現在位置の項目またはサブメニューを選択: 右矢印キー または OK ボタン。

5) 呼び出し元のメニューに戻る: 左矢印キー。

6) メニューを終了する: キャンセルボタン。

### 4.8.2 ダイアログボックスの使い方

ダイアログボックスには、特定項目についての情報を提供したり、その情報やオプションを変更したりする機能があります。

例えば、今再生中の音楽データの情報を表示する際に使用されます。

ダイアログボックスには、コントロールと呼ばれる「編集ボックス」や「コンボボックス」、「プロンプトボタン」が使用されます。

編集ボックス：数字や文字の入力に使用します。

コンボボックス：主に設定メニューにおいて設定内容の選択に使用します。

プロンプトボタン：「はい」または「いいえ」の入力が必要な場合に使用します。

ダイアログボックス中では以下のキーストロークを使用します：

1) 前のコントロールへ移動: 上矢印キー

2) 次のコントロールへ移動: 下矢印キー

3)コンボボックス内の次の項目へ移動、またはプロンプトボタン切り替え:右矢印キー

4)コンボボックス内の前の項目へ移動、またはプロンプトボタン切り替え:左矢印キー

5)設定を保存してダイアログをクローズ: OK ボタン

6)設定を保存せずダイアログをクローズ: キャンセルボタン

## 4.9数字パットを使った文字入力

文字入力を行う場面では、ブレイズは編集ボックスという状態になります。

編集ボックスはデータの入力に使用します。数字のみ入力の場合や、数字、文字および記号の入力が可能な場合があります。

数字のみ入力の例としては、アラームや日付時刻設定、スリープタイマー設定があります。これらの編集ボックスでは数字パッドにある１から０の数字キーで入力を行います。

一般的な編集ボックスの例としては、メモや文字検索、ユーザ名やパスワードの入力などが該当します。これらの場合、数字キーパッドを使用して英大文字や英小文字、数字、記号を入力します。入力方法は＃キーを使用すれば順次切り替えることが可能です。

日本語入力を行う場合、漢字変換はできません。検索文字列はひらがなで作成してください。

また、っ・ゃ・ゅ・ょ・ぁ・ぃ・ぅ・ぇ・ぉ等の小さいひらがなは入力できません。検索などで必要な場合は大きいひらがなで代用してください。

例：しゅっちょう⇒しゆつちよう

編集ボックス内では以下のキーストロークを使用します：

1. データ入力: 各数字ボタン
2. 前の文字を削除: アスタリスク
3. 入力済全データ削除:アスタリスクキーを押し続ける
4. 前の文字に移動: 左矢印キー
5. 次の文字に移動: 右矢印キー
6. 前の単語に移動:左矢印キーを押し続ける
7. 次の単語に移動:右矢印キーを押し続ける
8. 全データ読上げ: レビューボタン
9. 編集ボックスを閉じる: キャンセルボタン

この方法で文字入力を行うには、電話に使われているようなT9入力を使用します。

これでは、ひとつの数字につき、３つから４つの英字を順次選択して入力できます。２番目以降４番目までの文字を選択するには、数字キーを何度も押してその文字まで移動します。例えば、数字4は英字のｇ,ｈ,ｉの入力に使用します。ｈを入力する際には、数字4を２回続けて押します。英字のＩを入力するには、数字4を3回続けて押します。

数秒待てば、クリック音が鳴りブレイズETが入力した文字を読み上げます。

ひらがな入力には以下の数字を使用します：

1：あいうえお

2：かきくけこ

3：さしすせそ

4：たちつてと

5：なにぬねの

6：はひふへほ

7：まみむめも

8：やゆよ

9：らりるれろ

0：わをん

英字入力には以下の数字を使用します：

1:　, 　. 　―　＠ 読み【コンマ、ピリオド、マイナス、アットマーク】

2: a b c

3: d e f

4: g h i

5: j k l

6: m n o

7: p q r s

8: t u v

9: w x y z

0: スペース ? !

同様に、記号や句読点も数字キーで入力します。＃キーを使用して入力方法を記号に切り替え、以下の数字それぞれを対応した文字の入力に使用します：

1: . , !　読み【ピリオド、コンマ、エクスクラメーション】

2: ―　～　＠　読み【マイナス、チルダ、アット】

3: ‘　’　#　読み【アポストロフィ、クォーテーション、シャープ】

4: ；　：　＄　読み【セミコロン、コロン、ドル】

5: ／　？　％　読み【スラッシュ、クエスチョン、パーセント】

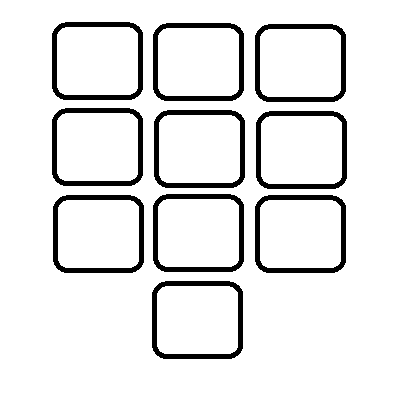
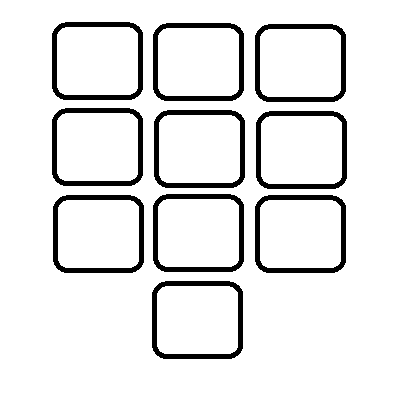
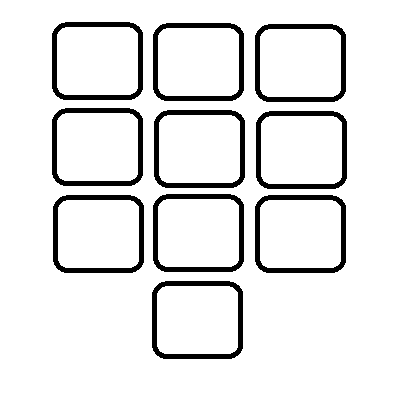
6: ̀　 ＿　‸　読み【アクサングラーブ、アンダー、キャレット】

7: （　）　＆　読み【括弧開き、括弧閉じ、アンド】

8: ［　］　＊　読み【大括弧開き、大括弧閉じ、アスタリスク】

9: ｛ ｝＝　＋　読み【中括弧開き、中括弧閉じ、イコール、プラス】

0: ＜　＞　**＼　｜**読み【小なり、大なり、バックスラッシュ、縦線】



わ行

ら行

や行

ま行

な行

た行

は行

さ行

か行

あ行

␣?!

, ‘ @.

WX YZ

PQ　RS

TUV

MNO

JKLL

DEF

ABC

GHI

かな

アルファベット

‐~ @

シンボル（記号）

{ } = +

［ ］\*

; : #

/ ? %

‘ ’ #

. , !

<>|

( ) &

̀\_ ‸

# 5.ファイル管理

ブレイズETのファイル管理では、内蔵フラッシュディスクだけでなく、SDカードやUSBドライブ内を検索することができます。再生可能なファイル、またはDAISYやメディアフォルダを選択し、「OK」を押すことで、自動的に選択したファイルを再生できるプログラムを起動します。

また、ファイル管理では、コンピュータを使わずにファイルとフォルダのコピー、移動、削除、圧縮、解凍が可能です。フォルダの作成も可能なため、ドライブ間のファイルのインポートやエクスポートも可能です。

## 5.1 ファイル管理の実行と終了

ファイル管理は、ホームメニュー先頭の項目です。ブレイズETを起動すると、ホームメニューが立ち上がり、ファイル管理の項目を表示します。実行するには「OK」 を押します。

ホームメニューの他の項目を表示している状態の場合は、上下矢印キーを使って「ファイル管理」まで移動し、「OK」を押します。

ファイル管理実行中は、「キャンセル」を押して終了できます。ファイル管理を終了すると、ホームメニューへ戻ります。

## 5.2 コンテンツの検索・選択・実行

ファイル管理を開くと、項目のリストが表示されます。ブレイズETにSDカードやUSBドライブが接続されていない場合、内蔵フラッシュディスク内のフォルダやファイルがリスト表示されます。SDカードやUSBドライブが接続されている場合は、ドライブがリストの一番上に表示され、次にSDカード、フラッシュディスク内のフォルダ・ファイルと続きます。

項目間の移動には上下矢印を使います。移動の際、 ブレイズETは、「オプション」の「一般設定」の「表示する情報」設定に基づき、それぞれの項目ごとに情報を読み上げます。

案内情報の設定は「フィールド情報」から「すべて」、「コントロール」、「種類」、または、「オフ」に選択できます。「オフ」に設定した場合、リスト内を移動していくと、ファイル・フォルダ名に加え、全項目数に基づいて、そのファイル・フォルダが、リスト内の何番目に当たるかを案内します。例えば25個あるリストの2番の場合は 「2 、25」といった具合です。「表示する情報」を「コントロール」に設定した場合、「リスト項目」と案内され、そのリスト内にいることを知らせてくれます。「種類」が選択されていた場合、選択中のファイル・フォルダが「メディア」「文書」「DAISY」フォルダ、あるいはその他なのかを教えてくれます。「すべて」が選択されていた場合、ファイル管理内の移動時に、これらすべての情報が読み上げられます。

ファイル管理ではコンテンツの種類を「Daisy」、「ミックス」、「圧縮」、「ブックリーダーやメディア」、「不明なファイル形式」などと識別します。

### 5.2.1 ファイル管理のコマンド

|  |  |
| --- | --- |
| キー操作 | 機能 |
| 上矢印 | 同一リスト上で前のファイル、フォルダ、またはメニュー項目へ移動 |
| 下矢印 | 同一リスト上で次のファイル、フォルダ、またはメニュー項目へ移動 |
| 左矢印 | フォルダの外へ移動 |
| 右矢印 | 現在のフォルダを開く |
| OK | 現在のファイル・フォルダを再生、またはメニュー項目を実行 |
| キャンセル | 1回押すことで、現在の機能のキャンセル、または、選択中のファイルの選択をキャンセル。2秒間長押しすると、現在のファイルまたはフォルダを削除。 |
| メニュー | ファイル管理メニューを開く。 |
| 情報 | 現在の項目の名前を読み上げ。2秒間長押しすると、ファイル情報ダイアログを開く。 |
| テンキーの１ | ファイルまたはフォルダリストの一番上に移動。ファイル管理のメニューで1を押すと、コピーを実行。 |
| テンキーの２ | ファイルまたはフォルダリストに移動。フォルダ内を見ている場合は、 2を押すことで、最初の使用可能なファイルに移動。 メニューで2を押すと、切り取りを実行。 |
| テンキーの３ | 25項目上に移動。メニューで3を押すことで貼り付けを実行。 |
| テンキーの４ | 現在のファイルまたはフォルダ名を一文字ずつ戻りながら読み上げ。メニューで4を押すと、削除を実行。 |
| テンキーの５ | 現在の文字の詳細読み。 2回押すことで、文字と詳細読みを確認することが可能。メニューで、5を押すと名前の変更機能を実行。 |
| テンキーの６ | 現在のファイルまたはフォルダ名を一文字ずつ進みながら読み上げ。メニューで6を押すと、新規フォルダの作成を実行。 |
| テンキーの７ | リストの最下部へ移動。メニューで7を押すと、ファイルやフォルダの圧縮機能を実行。 |
| テンキーの８ | ファイルダイアログを開く。 |
| テンキーの９ | 25項目下に下がる。 |
| テンキーの０ | 選択・選択解除を切り替えます。2秒間長押しで、選択リストへ移動。  ※選択リスト： すべて選択、末尾まで選択、先頭まで選択、連続選択の開始 |
| ＃（シャープ） | ルートまで移動 。2秒間長押しで、数値キーのロック・ロック解除。編集ウィンドウでは、キーボード入力方式の切り替え。 |

### 5.2.2 よく使うナビゲーション操作

通常の項目間移動は以下の様に行います。

上下矢印キーを使ってリスト内の項目間の移動を行う。

左右矢印キーでフォルダへの出入りを行う。

テンキーの1でリストの先頭へ移動、テンキーの 7でリスト末尾へ移動。

テンキーの3でリストの25項目前へ移動、テンキーの9でリストの25項目後へ移動。

テンキーの2でリスト内の最初のファイルまたはフォルダへ移動。

#キーで、ルートディレクトリへ移動。

テンキーの8を押し、移動したい項目の番号を入力すると、入力した番号面の項目へ移動。

※例：1000項目あるリスト内の300番目のファイルに移動したい場合、テンキーの8を押して表示されたエディットボックスに300と入力してOKを押すと、300番目のファイルへ移動します。

### 5.2.3 情報の閲覧

対象のファイルやフォルダに関する詳細な情報を確認することが可能です。

現在の項目の名前をもう一度確認するには、情報キーを押してください。

テンキーの 4、 5、 6を使って現在のファイルまたはフォルダの名前を確認できます。4 と6のキーはそれぞれ、前と次の文字を読みます。5 は現在の文字と、素早く2度押すことで詳細読みを確認することができます。

現在のファイルまたはフォルダの詳細情報を知るためには、情報キーを2秒以上長押ししてください。情報ダイアログが開いたら、上下矢印キーで詳細情報の項目間を移動できます。左右矢印キーでは現在の項目を一文字ずつ読むことができます。

情報ダイアログには下記の情報項目が含まれます：

1) ファイル名: 現在のファイルまたはフォルダの名前。

2) 種類: 現在の項目がファイル・フォルダ・またはストレージデバイスなのかを表示。

3) フォルダ数: 現在の項目がフォルダの場合、サブフォルダの数を読み上げ。

4) ファイル数: 現在の項目がフォルダの場合、そのフォルダ内のファイルの数を読み上げ。

5) サイズ: 現在の項目のデータサイズを読み上げ。

6) 日付: ファイルまたはフォルダの作成日

7) 時間: ファイルまたはフォルダの作成時間

情報ダイアログは、OKまたは取り消しキーで終了できます。

また、複数の項目の情報を一度に確認することも可能です。各項目で０キーを押して選択し、確認キーを長押しすると情報ダイアログが開きます。

複数項目間の情報は下記のように表示されます：

1) フォルダ数： 選択した項目内のフォルダ数をお知らせします。

2) ファイル数：選択した項目内のファイル数をお知らせします。

3) サイズ：選択した項目のトータルのファイルサイズをお知らせします。

### 5.2.4 複数項目選択

ファイル管理から複数の項目を選択し、再生、あるいはコピーや圧縮など一括して選択した動作を行うことができます。

現在の項目を選ぶには、０を押します。既に項目を選択している場合には、０を押すことで選択を解除します。キャンセルキーを押すと選択している全ての項目の選択を解除します。

０の長押しで、複数の選択オプション機能の中から実行したい機能を選択できます。長押しをするたびに以下の選択項目を切り替える事ができます。

※選択できる機能：すべて選択、末尾まで選択、先頭まで選択、連続選択の開始

つまり、末尾まで選択したい場合は０の長押しを2回行います。連続選択の場合には、０の長押しを4回行います。

連続選択を実行する場合、連続選択を選択した開始位置が開始位置になります。矢印キーを使い、選択したいファイル群の終わりまで行きます。選択位置の終わりは、移動後の現在の位置となります。例えば300番目のファイルで０キーを4回長押しし、下矢印キーを10回押すと、選択するファイルは、300-310番目のファイルになります。

選択したい項目を全て選択したら、OKボタンを押し、再生または、情報キーを長押しし、プロパティを一括確認できます。または、コピー、切り取り、圧縮などの機能を一括して行うことも可能です。取り消しを押すことで、選択した項目の選択を解除できます。一回０を押すと、選択した一つの項目の選択状態を解除できます。

### 5.2.5 コンテンツを開く

ファイル管理は、選択したファイルまたはフォルダの種類に応じたアプリケーションを自動的に起動します。再生したい項目、複数選択した項目で、OKボタンを押す実行します。

複数のメディアファイルの選択後にOKボタンを押すと、メディアプレーヤーが起動し、選択したファイルがプレイリストに追加されます。メディアファイルを含んだフォルダを選択した場合は、フォルダ内のメディアファイルをプレイリストに追加できます。この機能は文書を含んだフォルダでも同様です。複数の文書ファイルが選択された場合、OKボタンを押すと、ブックリーダーで連続して再生されます。

**※注意**: 複数種類のプログラムで再生可能なコンテンツが混ざったフォルダにおいてはOKを押すことはできません。フォルダ内で、異なる種類のファイルが混在している場合、“コンテンツなし”の案内が流れ、特定のアプリケーションを起動できません。加えて、選択したフォルダの直下にあるコンテンツしか再生することができないため、サブフォルダ内のファイルは再生されません。

DAISY図書の場合、DAISY図書を含んだフォルダにおいてOKボタンを押すと開きます。もし、他のコンテンツがそのフォルダに入っていた場合、その命令は無視されます。DAISYフォルダの複数選択はできないので、DAISY図書を個別に再生する必要があります。

OCR画像でOKボタンを押すと、自動的に認識をはじめテキストを読み始めます。

各メディアの再生中に取り消しキーを押すと、再生が終了し、ファイル管理へ戻ります。

## 5.3 ファイルとフォルダの管理

ファイル管理を使ってブレイズET上のファイルとフォルダを管理することができます。このメニューにはファイルのコピー・移動・圧縮・解凍・名前の変更・新規フォルダの作成の機能があります。

### 5.3.1 コピー

データのコピーと貼付けは以下の手順で行います。

1. コピーしたいファイルを選択します。前述の通り、０キーを使って複数選択も可能です。
2. メニューキーを押します。
3. 「コピー」がメニューの最初の項目に表示されます。
4. OKボタンまたは、ショートカット1キーを押します。「コピー完了」と読み上げ、選択した項目がクリップボードにコピーされます。
5. コピーしたファイルを置きたいフォルダまで移動します。
6. メニューキーを押します。
7. 上下矢印キーを使い、「貼り付け」を選択し、OKボタンまたはショートカット3キーを押します。 ファイルの貼り付けが開始されます。
8. ファイルのコピー中は、ビープ音が鳴り作業が進行中であることを表します。
9. 同じ名前のファイルまたはフォルダが、選択したコピー先にある場合、上書きするかどうかを尋ねられます。左右矢印キーを使い、「はい」、「すべてはい」、「いいえ」を選びます。

「はい」を選択し、他にも同名のファイルがあった場合は、その都度選択尋ねられます。「すべてはい」を選択すれば、すべての同名の項目に適用されます。

「いいえ」を選択した場合でも、他にも同名のファイルがあった場合は、都度どの選択を行うか尋ねられます。「キャンセル」を選択した場合は、コピーが取り消されます。

キャンセルキーを押すことで、進行中のファイルのコピーを中止し、コピーをキャンセルできます。

コピーしたファイルを元のフォルダにコピーしようとすると、ファイルの名前に番号が続く形で、ファイルが複製されます。

### 5.3.2 切り取り/移動

データの切り取りと移動は下記の手順で行います。

1. 移動したいファイルを選択します。前述の通り、０キーを使って複数選択も可能です。
2. メニューキーを押します。
3. 下矢印キーで、「切り取り」を選択し、OKボタンまたはショートカット2キーを押します。「切り取り完了」と読み上げ、選択した項目がクリップボードにコピーされます。
4. 切り取ったファイルを置きたいフォルダまで行きます。
5. メニューキーを押します。
6. 上下矢印キーを使い、「貼り付け」を選択し、OKボタン、またはショートカット3キーを押します。
7. ファイルの貼り付けが始まります。ファイルの貼り付け中は、ビープ音が鳴り進行中であることを表します。

### 5.3.3 削除

ファイルまたはフォルダの削除は下記の手順で行います。

1. 削除したいファイルを選択します。前述の通り、０キーを使って複数選択も可能です。
2. メニューキーを押します。
3. 下矢印キーを使い、「削除」を選択し、OKボタンまたはショートカット4キーを押します。 するとファイルの削除を行うかどうか尋ねられます。左右矢印キーを使い、「はい」、「すべてはい」、「いいえ」のいずれかを選びます。読み取り専用のファイルであっても、削除するかどうかを尋ねられます。左右矢印キーを使い、「はい」、「すべてはい」、「いいえ」を選びます。「はい」を選択し、他にも読み取り専用ファイルがあった場合は、都度どの選択を行うか尋ねられます。「すべてはい」を選択すれば、すべての読み取り専用ファイルに適用されます。削除を中止するにはキャンセルボタンを押してください。

**※注意**: ブレイズET上で削除したファイルとフォルダは元に戻すことができません。

### 5.3.4 ファイル・フォルダの名称変更

下記の手順でファイル・フォルダ名を変更します。

* + 1. 名前を変更したいファイルまたはフォルダを選択します。個々の項目の名前を変更するため、複数選択はできません。
    2. メニューキーを押します。
    3. 下矢印キーを押し、「名前の変更」を選択しOKボタンまたはショートカット5キーを押します。
    4. 現在の項目の名前が入った、名前変更のエディットボックスが現れます。
    5. 左右矢印キーで編集位置を決め、新しい名前を入力します。レビューボタンで入力したテキストを確認できます。
    6. 名前の変更を完了するには、OKボタンを押します。

名前の変更を中止するには、キャンセルボタンを押してください。

### 5.3.5 フォルダ作成

下記の手順で新規フォルダを作成します。

1. メニューボタンを押す。
2. 下矢印キーで「新しいフォルダ」を選択し、OKボタンまたはショートカット6キーを押します。
3. 作成したいフォルダ名を入力します。
4. OKボタンを押すと、そのフォルダが作成されます。

フォルダの作成を中止するには、キャンセルボタンを押してください。

### 5.3.6 ZIPファイルに圧縮

下記の手順で1つ以上のファイルまたはフォルダをzipファイルに圧縮できます。

1. 圧縮したいファイルを選択します。前述の通り、０キーを使って複数選択も可能です。
2. メニューボタンを押します。
3. 上下矢印キーで、「ZIPファイルに圧縮」を選択し、OKボタンまたはショートカット7を押します。すると、圧縮ダイアログが現れます。
4. ZIPファイルの名前の入力を求められるので、付けたい名前を入力します。入力欄には、選択項目に応じた名前が自動的に入っているので、そのままの名前でも保存できます。
5. 圧縮ダイアログは、3つのエディットボックスから成り立っています:
   1. ZIPファイル名入力ボックス
   2. アーカイブパスワード編集ボックス
   3. パスワードの再入力ボックス
6. 選択中の項目をデフォルトのファイル名のままパスワード無しで圧縮するには、OKボタンを押します。パスワードを設定したい場合は、下矢印キーでパスワード編集ボックスに移動してください。
7. パスワードを使用する場合、アーカイブパスワード編集ボックスに入力してください。

**※注意**：パスワードを忘れた場合、圧縮したファイルを解凍できなくなります。ご自身で忘れにくいパスワードを設定してください。

1. 下矢印キーでパスワードの再入力キーへ移動し、再度パスワードを入力します。
2. OKボタンを押すと、ファイルの圧縮を開始します。

同名のファイルがあった場合、上書きするかどうかを尋ねられます。左右矢印キーを使って、「はい」か「いいえ」を選択してください。

圧縮を中止するにはキャンセルボタンを押してください。

### 5.3.7　ZIPファイルの解凍

下記の手順で、圧縮ファイルを解凍します。

1) 解凍したいファイルを選択します。

2) メニューボタンを押します。

3) 上下矢印キーを使い、「ZIPファイルを解凍」を選択しOKボタンまたは、ショートカット8を押します。

4) 解凍ダイアログが表示され、解凍する場所を指定します。

5) 左右矢印キーを使い、「ここに解凍」または、「サブディレクトリに解凍」を選択します。

「ここに解凍」を選択した場合、現在のディレクトリにZIPファイルと同名のフォルダが自動的に作られ、その中に解凍されます。

6) OKボタンを押します。

7) 解凍を開始します。

解凍にパスワードが必要な場合は、パスワード入力ボックスが現れます。

パスワードを入力し、OKボタンを押してください。

解凍中は、進行中のビープ音が鳴ります。

同じ名前のファイルまたはフォルダが、解凍先にある場合、上書きするかどうかを尋ねられます。左右矢印キーを使い、「はい」、「すべてはい」、「いいえ」を選びます。

「はい」を選択し、他にも同名のファイルがあった場合は、都度どの選択を行うか尋ねられます。「すべてはい」を選択すれば、すべての同名のファイルに適用されます。

「いいえ」を選択し、現在の項目をスキップした場合、次の同名がある場合同様に尋ねられます。「キャンセル」を選択すると、解凍が中止されます。

解凍を中止するにはキャンセルボタンを押してください。

# 6.メディアプレーヤーで音声データの再生

## 6.1 対応するメディアファイル

ブレイズETは下記のメディアフォーマットに対応しています。

1) MP3 320 Kbps, 44100 Hz, Stereo

2) MP4-AAC, M4a)

3) Wave 16bit 48000Hz

4) Ogg Vorbis

5) ASF ASF

6) FLAC 16 bit Q1 & Q10

7) Avi

8) WMA

9) WMV WMV

メディアプレーヤーを使用することで、ブレイズET本体フラッシュメモリ、SDカード、USBメモリに保存されたオーディオデータを再生する事ができます。

ファイルの再生はボタンの1タッチで開始することができます。

## 6.2 オーディファイルの再生

ホームメニューからメディアの再生をするには、２キーを押すか、下矢印で「メディアプレーヤー」を選択し、「OK」を押します。

一度もブレイズET上でメディアプレーヤーを使用していない場合、どのファイルまたはフォルダを再生するか選択する「エクスプローラー」が始まります。メディアプレーヤーの大きな特徴は、メディアプレーヤー内では再生可能なファイルまたはフォルダのみしか表示されないことです。

以前にもメディアプレーヤーを使用していれば、起動時に自動的に前回再生したファイルの終了した位置から再生します。

キャンセルボタンを押すとメディアプレーヤーを終了してホームメニューへ戻ります。

### 6.2.1音楽データの再生

音楽データを1件ずつ選んで再生することも、フォルダごと選んで連続再生することも可能です。エクスプローラーで1件のデータを選択してOKボタンを押すと1件だけ再生し、複数の音楽データの保存されたフォルダを選んでOKボタンを押すとフォルダごと再生します。

また、エクスプローラー使用中に再生したいファイル名を読み上げたところで０を押すとファイルを選択した状態になります。（「5.2.4複数項目選択」を参照）複数のデータを選択した状態で再生を実行すると選択したデータのみ再生します。

## 6.3 再生と一時停止

再生を停止するには、再生中にOKボタンを押します。

もう一度OKボタンを押すと再生を再開します。

## 6.4 再生中のファイル情報

レビューボタンを使用して再生中のファイル情報を確認することができます。

1. レビューボタンを押すと下記の情報を読みあげます：
2. ファイル名: 現在のファイル名とファイル形式
3. 再生時間：現在のファイルの再生経過時間
4. 総再生時間：現在のファイルの総再生時間
5. マーク情報：現在のファイルに付いているマークの数。マークがない場合。マーク情報は読み上げません。
6. 現在のトラック番号：現在のプレイリストに基づいたトラック番号
7. 総トラック数：現在のプレイリストの総トラック数
8. 再生状態：再生または一時停止の状態

レビューボタンを2秒以上長押しすると詳細ダイアログを開きます。詳細ダイアログは現在のファイルの情報をリスト形式で表示します。上下矢印キーで、様々な情報の中から確認したい項目へ行き、左右矢印キーで各情報を文字ごとに確認できます。

詳細ダイアログの終了には、OKボタンまたはキャンセルボタンを押してください。

## 6.5 トラックの移動

フォルダごと音楽データを再生した場合、左右矢印キーでトラック間の移動ができます。右矢印キーは次のトラックへ、左矢印キーは前のトラックへ移動します。

## 6.6 再生位置の移動

再生位置を移動したい場合、左右矢印キーを押します。右矢印キーの長押しで早送り、 左矢印キーの長押しで巻き戻しです。右か左の矢印キーを長押しした場合、移動する時間の音声案内が流れます。長押しする時間が長ければ長いほど、移動する時間が長くなります。移動したい時間の案内があったところで、矢印キーを離せば、その分の時間が進むか戻るかします。

例えば、20秒前に戻したい場合、左矢印キーを長押しします。“5秒、10秒、20秒、30秒”とアナウンスが流れるので、“20秒”のところでキーを離すと、20秒前に戻ります。

## 6.7 移動単位の変更

左か右の矢印キーを押す事で、再生箇所を移動することができますが、この移動単位を上下矢印キーで調整することができます。デフォルトの設定では、左右矢印キーは1トラック移動です。しかし、上下矢印キーを押すと、 その単位を5トラック、10トラック、最初のトラック・最後のトラック、そのトラックの始まり・終わり、10分、3分、30秒、5秒またはマークに設定できます。マークの選択肢は、ファイル内にマークがあるときのみ表れ、左右矢印キーでその間を移動することができます。

そのため、現在のプレイリストを3分単位で動かしたい場合、まず上下矢印キーを、“3分”と案内が流れるまで押し、案内が流れたら左右矢印キーで3分進めたり戻したりします。

3と9のキーでも5トラックごとの移動が可能ですが、メディア設定で動かすトラック数を変更できます。1と7のキーでは、最初のトラック・最後のトラックへ進めます。

## 6.8 特定の場所へ移動する

上記で説明した様々な移動方法に加え、ファイルまたはプレイリスト内の特定の場所に移動することもできます。

### 6.8.1 特定の再生時間へ移動する

特定の再生時間まで移動するには２を押します。 経過時間・総時間を読み上げ、移動したい特定の時間を入力するエディットボックスが現れます。

指定の時間は6桁の数字で入力します： 最初の2桁は時間、次の2桁は分、最後の2桁は秒数です。例えば、現在のトラックの5分20秒の再生位置に移動したい場合、000520と入力します。エディットボックスに入力した値は、左右矢印キーで確認できます。アスタリスクキーで前の文字を消せます。

指定の時間の入力が完了し、OKボタンを押すと指定した時間から再生されます。

この機能はメニューから実行することもできます。その場合、メニューボタンを押し、下矢印キーで「時間移動」を選択し、OKボタンを押します。または、メニューを開いた状態で２を押します。

### 6.8.2 パーセントで移動

ファイルの特定の場所へパーセンテージに基づいて移動したい場合、再生中に５を押します。現在のパーセンテージを読み上げ、エディットボックス内で移動したいパーセンテージ位置の入力を求められます。テンキーを使い、移動したい位置のパーセンテージを入力し、OKボタンを押します。すると入力したパーセンテージ位置から再生します。

この機能は、メニューから実行することも可能です。メニューボタンを押し、下矢印キーで「パーセンテージで移動」を選択し、OKボタンを押します。または、メニューを開いた状態で５を押します。

### 6.8.3 特定のトラックへの移動

プレイリスト内の特定のトラックへ移動したい場合は、再生中に８を押します。現在のトラック番号と総トラック数を読み上げ、エディットボックス内で移動したいトラック番号の入力を求められます。 テンキーを使い、移動したいトラック番号を入力し、OKボタンを押します。すると入力したトラック番号から再生します。

この機能は、メニューから実行することも可能です。メニューボタンを押し、下矢印キーで「トラック番号で移動」を選択し、OKボタンを押します。または、メニューを開いた状態で８を押します。

## 6.9 メディア再生設定

再生ボリューム、速さ、イコライザー、シャッフル・リピート再生などのオプションが設定可能です。

### 6.9.1 ボリューム、速度、イコライザーの設定

ボリュームボタンでメディアの音量、プリアンプ、再生スピード、イコライザーの設定が可能です。

1. メディア音量：

メディアの再生ボリュームを1から15の値で調整できます。

1. メディアプリアンプ:

オーディオの録音は異なるボリュームでされることがよくあります。この差異を埋めるため、プリアンプ値を調整することができます。デフォルト値は0です。プリアンプ値の調整は、-4から6の間で設定可能です。

1. メディアレート：

再生スピードを１から15の間で設定可能です。

1. メディアイコライザー：

再生中のオーディオファイルの種類によって、イコライザー設定から音の性質を変更することができます。設定可能なイコライザーは自動、ノーマル、クラシック、ダンス、ジャズ、ポップ、ロックです。

【参考】音声コントロールボタンを使い、音量ボタンによって調整する設定を選び、音量（＋）ボタンで値を増やし、音量（－）ボタンで値を減らします。

例えば、再生スピードを変更するには、音声コントロールボタンを二回押し、メディアレートに移動します。そして、音量ボタンで、メディアの再生スピードを調整します。

約10秒間操作せずにおくと、音量ボタンは本来の音量を上げ下げする機能に戻ります。その際には、二回短いビープ音が鳴ります。

### 6.9.2 シャッフル再生のオン/オフ

デフォルトでは、メディアプレーヤーは、トラックの表示されている順に再生しますが、 トラックをシャッフルし、ランダムに再生することが可能です。

シャッフル再生のオン/オフは、再生中または停止中に４を押します。４を押すたびに、「シャッフル再生オン」または「シャッフル再生オフ」の音声が流れ、設定が切り替わります。

### 6.9.3 リピート再生設定

デフォルト設定では ブレイズET は、プレイリスト内のトラックを全て再生し終わると止まります。もしプレイリストの曲が一曲だけであれば、それで終わってしまいます。

しかし、現在のトラックを一曲リピート再生、または、プレイリスト内トラックを全てリピート再生すようメディアプレーヤーを設定できます。

リピート設定には、再生中または停止中に６を押します。６を押すたびに、「このファイルの再生を繰り返します」、「全ての再生を繰り返します」または、「繰り返しオフ」の音声が流れ設定が切り替わります。

### 6.9.4 イコライザー設定

音声コントロールボタンと音量ボタンでイコライザー設定を変更できますが、イコライザー設定はメニューからも設定可能です。

メニューボタンを押し、メディアプレーヤーのメニューを開きます。上下矢印キーで「イコライザー設定」へ移動し、「OK」押してください。すると「イコライザー設定」ダイアログが開きます。左右矢印キーを使い、イコライザーを選択し、OKボタンを押し、設定を保存します。キャンセルボタンを押すと設定を変更せずにイコライザー設定ダイアログを終了します。

設定可能なイコライザーは自動、ノーマル、クラシック、ダンス、ジャズ、ポップ、ロックです。

### 6.9.5 メディア設定

メディア設定を確認または変更する場合、メディアプレーヤーのメニューを開き、「メディア設定」でOKボタンを押すか４を押します。

上下矢印キーで、ダイアログ内にある設定を選択します。左右矢印キーで、設定を変更します。

メディア設定では下記の設定を行います。

1. ファイル名を通知：左右矢印キーでオン/オフを選択します。
2. 繰り返し回数をハイライト：左右矢印キーでオフ、1から10回、ループから選択します。
3. シャッフル再生設定：左右矢印キーでオン/オフを設定します。
4. 繰り返し設定：「このファイルの再生を繰り返します」、「全ての再生を繰り返します」または、「繰り返しオフ」
5. 移動するファイル数：左右矢印キーで 5, 10, 15, 20 または 25から選択します。
6. 終了時にマークを保存：左右矢印キーでオン/オフを選択します。

OKボタンを押し設定を保存します。キャンセルボタンを押すと、変更を保存せずに設定を終了します。

## 6.10 マーク

再生時間が長い講演会の録音やデータや本などのオーディオファイルでは、何らかの区切りマークを付けると、後々再確認できるので便利です。ブックマーク、音声マーク、ハイライトマークを使って、区切りをつけることが可能です。

これらのマークは合計して最大999個のマークを付けることが可能です。

マークの種類が異なってもマーク番号は重複されません。例えば、同じ5番のブックマークとハイライトマークは同時につけられません。マーク番号は、種類が異なっても1から999の中から個別につけられます。

### 6.10.1ブックマークの挿入

下記の手順でブックマークを挿入します。

1. コンテンツ内のマークを挿入したい地点で、＃ボタンを押してください。
2. マークマネージャーが起動し、「ブックマーク」と読み上げます。
3. OKボタンを押してください。
4. 挿入したいマークの番号の入力を求められます。
5. 数値キーで任意のマーク番号を入力してください。
6. OKボタンでマークを保存します。
7. 既に同じマークが存在していた場合、「既に存在します」と読み上げ、再度番号を入力するエディットボックスに移動します。別の番号を入力してください。

キャンセルボタンで、いつでもマーク設定を中止できます。

### 6.10.2 音声マークの挿入

音声マークを設定することで、マークに追加情報や特記を付加することが可能です。

下記の手順で音声マークを挿入します。

1. マークしたい地点で、＃ボタンを押してください。
2. マークマネージャーが立ち上がり、「ブックマーク」と読み上げます。
3. 下矢印キーを押して「音声マーク」を読み上げたら、OKボタンを押してください。
4. 「録音開始」と読み上げ、録音を開始します。録音時間は最大40秒です。
5. 録音を終了したら、OKボタンを押してください。
6. マーク番号の入力を求められます。数値キーで任意のマーク番号を入力してください。
7. OKボタンを押すとマークを保存します。
8. 既に同じマークが存在していた場合、「既に存在します」と読み上げ、再度番号を入力するエディットボックスに移動します。別の番号を入力してください。

キャンセルボタンで、マーク設定を中止できます。

### 6.10.3 ハイライトマークの挿入

下線を引くように、コンテンツの一部をハイライトすることが可能です。

下記の手順でハイライトマークを挿入できます。

1. マークしたい地点で、＃ボタンを押してください。
2. マークマネージャーが起動し、「ブックマーク」と読み上げます。
3. 下矢印キーを何度か押して「音声マーク」と読み上げたらOKボタンを押してください。
4. マークの開始位置は、現在位置が設定され、再生が続きます。
5. 再生がハイライトマークを終了したい位置まで来たら、再度OKボタンを押してください。
6. 挿入するマーク番号の入力を求められます。数値キーで任意のマーク番号を入力してください。
7. OKボタンを押すとマークを保存します。
8. 既に同じマークが存在していた場合、「既に存在します」と読み上げ、再度番号を入力するエディットボックスに移動します。別の番号を入力してください。

キャンセルボタンで、マーク設定を中止できます。

### 6.10.4 マークへ移動する

マークへ移動するには2つの方法があります。再生中に「マーク」へ移動する方法か、マークマネージャーから移動したいマークを指定する方法です。

マークの数が少ない場合はマークを順番に移動する方法が簡単ですが、データにたくさんのマークが付いている場合は指定して移動した方が便利です。

下記の手順で再生中にマークへ移動します。

1. 上下矢印キーで「マーク」を移動単位として選択します。
2. 左右矢印キーを押すと、ファイル内のマーク間を移動します。

下記の手順でマークマネージャーを使ってマークへ移動します：

1. 再生中に＃ボタンを押してください。
2. マークマネージャーが起動し、「ブックマーク」と読み上げます。
3. 上下矢印キーを何度かおして「マークに移動」を選択し、OKボタンを押してください。
4. 移動したいマーク番号の入力を求められます。数値キーで移動したいマークの番号を入力してください。
5. OKボタンを押すと、指定したマーク位置から再生が始まります。

キャンセルボタンで、いつでもマーク移動を中止できます。

### 6.10.5 マークの削除

下記の手順でマークを削除します。

1)再生中にOKボタンを押してください。

2) マークマネージャーが起動し、「ブックマーク」と読み上げます。

3) 上下矢印キーを何度かおして「マークの削除」を選択し、OKボタンを押してください。

4)削除したいマーク番号の入力を求められます。数値キーで削除したいマーク番号を入力してください。

6)OKボタンを押すと指定したマークが削除されます。

キャンセルボタンで、いつでもマーク削除を中止することができます。

また、再生中の状態でキャンセルボタンの長押しすると、ファイル内のすべてのマークを削除してメディアプレーヤーを終了します。

## 6.11 エクスプローラーの使用

エクスプローラーを使って、ブレイズET内に保存されている、特定の楽曲、アルバム、Podcastファイルを確認したり、再生したりすることができます。エクスプローラーは、5章で説明したファイル管理と似ていますが、こちらはメディアプレーヤーで再生可能なファイルやフォルダのみを表示します。加えて、コピーや解凍、削除などのファイル管理機能は使用できません。

フォルダとファイルがリスト表示されるので、簡単にメディアファイルへの移動が可能です。

メディアコンテンツを含むファイル・フォルダへの移動する方法を説明します。まず、メディアプレーヤーを起動中にメニュー長押ししてください。すると、現在再生中のファイルが保存されているファイル・フォルダリストに移動します。エクスプローラーを使用中にキャンセルボタンを押すと、エクスプローラーを開始した再生位置に戻ります。

### 6.11.1 一般ナビゲーション

下記のキーストロークで、エクスプローラー使用中に、項目を移動します。

1. 上下矢印キーでファイル・フォルダリスト内を移動します。
2. 左矢印キーでフォルダの一つ上の階層へ移動します。
3. 右矢印でフォルダ・ファイルの一つ下の階層へ移動します。
4. OKボタンで指定したファイル・フォルダを再生します。
5. ＃ボタンでルートディレクトリへ移動します。
6. １でリストの一番上へ移動します。
7. ７でリストの一番下へ移動します。
8. ３で25項目上へ移動します。
9. ９で25項目下へ移動します。

### 6.11.2 特定の項目への移動.

８を押すと、リスト内の番号の特定のファイル・フォルダへ移動することができます。８を押すと、移動したいファイル・フォルダの番号を入力するエディットボックスが表示されます。番号を入力し、OKボタンを押すと、そのファイル・フォルダへ移動することができます。

### 6.11.3 リスト内のファイルからフォルダへ移動

エクスプローラー使用中、リスト内にフォルダとファイルが両方ある状態で２を押すと、リスト内のファイルからフォルダ（またはフォルダからファイル）へ移動できます。

再生したいファイルまで来たら、OKボタンを押して再生できます。０を使って５章で説明した複数選択を行うことも可能です。特定のフォルダ内のすべての項目を再生したい場合は、リスト内にあるフォルダを選択し、OKボタンを押すと、すべての項目がプレイリストに追加されます。

### 6.11.4 ファイルとフォルダ情報の確認

下記のキーストロークで、エクスプローラーを使用中にファイルとフォルダの情報を確認することができます：

1. レビューボタンで現在の項目の名前を確認できます。
2. レビューボタン2秒以上長押しで、現在のファイルやフォルダの詳細ダイアログを開きます。
3. ４を押すと現在のファイルやフォルダ名の前の文字を読み上げます。
4. ６を押すと現在のファイルやフォルダ名の次の文字を読み上げます。

メインメニューからメディアプレーヤーを実行すると、初回はエクスプローラーが起動します。エクスプローラーは各機能に関係するデータのみを探すための機能です。メディアプレーヤーでエクスプローラーを使用すると本体とSDカードに保存された、音声データのみ表示します。

一度音楽を再生していると、メディアプレーヤーは最後に再生したデータの再生から開始します。SDカードを入れ替えるなどして最後に再生したデータが見つからない場合はエクスプローラーが起動します。

　また、音楽再生中に他のデータを再生したい場合は、メニューボタンを長押しすることでエクスプローラーを起動できます。

## 6.12　音楽再生中の操作

再生／一時停止：OKボタン

早送り：右矢印キーを長押し

巻戻し：左矢印キーを長押し

データ情報の表示：レビューボタン

次トラック：右矢印キー

前トラック：左矢印キー

上下矢印キー：移動単位の変更

エクスプローラーを開く：メニューボタン長押し

メニューを開く：メニューボタンを短く押す

【参考】

早送りと巻戻しは長押しすると何秒移動するかアナウンスされます。移動したい量を読み上げたところでボタンを離すと指定した時間分移動して再生を再開します。

# 7.ブックリーダーで読書

ブレイズETのブックリーダーは文書データやDAISY図書を再生する機能です。

## 7.1　対応している文書ファイル

ブックリーダーは以下の文書ファイルやDAISYフォーマット形式に対応しています。

文書ファイル

* 1. テキストファイル：txt
  2. リッチテキスト：rtf
  3. マイクロソフトワード文書ファイル：doc/docx
  4. Webページ記載用のマークアップ言語：HTM/HTML/XML
  5. センス文書：hbl/hpf
  6. 電子書籍：EPUB
  7. Adobe文書：PDF

※ブックリーダーが対応できるPDF形式のファイルはテキスト情報が埋め込まれているものに限ります。

DAISY形式

1. DAISY 2.0/2.02/3.0, DAISY XML / Digital Talking Book.
2. ANSI / NISO Z39.86 2002, 2005.
3. NIMAS 1.1,
4. National Library Service (NLS).
5. Content from BookShare.org.
6. Learning Ally
7. Open Library/Archive.org.

※ADPCM2コーデックのWAVファイルが含まれる一部のDAISYは再生できません。

## 7.2　コンテンツの選択と再生

ブックリーダーはホームキーを押してから３を押すと起動します。または、ホームメニューを開いてから、上下矢印キーを押して「ブックリーダー」と読み上げたところでOKキーを押しても実行できます。

もしも、前回再生していたDAISYや文書があった場合は、その途中から再生を再開します。初めて文書やDAISYを再生する場合はエクスプローラー画面が開きます。読みたいデータを選択して再生することができます。

エクスプローラーでは以下の操作を使って再生したいデータを選んでください。

上下矢印キー：ファイルやフォルダのリストからデータを選択します。

右矢印キー：フォルダを表示している状態で押すと、フォルダ内に移動します。

左矢印キー：フォルダ内のファイルを表示している場合、フォルダの外に移動します。

OK：選択したデータを再生します。

＃：エクスプローラーで表示できるデータの一番上の階層に移動します。

１：データリストの先頭へ移動します。

７：データリストの最後へ移動します。

３：25個前のデータへ移動します。

９：25個後のデータへ移動します。

コンテンツの再生中にOKキーを押すと再生を一時停止することができます。再度OKキーを押すと再生を再開します。キャンセルキーを押すとコンテンツの再生を取り消してホームメニューに戻ります。コンテンツ再生を終了した場所は自動的にブックリーダーに保存されます。次回ブックリーダーを使用すると、前回再生中だった場所から再開します。また、再生中に取り消しキーを長押しすると全てのマーク情報を削除してコンテンツの再生を終了します。

## 7.3　ナビゲーション

ブックリーダーは書籍や文書データ内で、見出しや段落、文、単語、再生時間といった単位でデータ内を移動して読みたい場所を探すことができます。上下矢印キーで移動したい単位を選択し、左右矢印キーを押すことで、選択した単位ごとに文書の前後に移動します。

使用できる移動単位は再生しているデータの種類によって異なります。

ナビゲーションの各移動項目は以下の通りです。

* 1. 見出し

DAISY図書でのみ使用できます。この項目を選択すると、左右矢印キーを押すたびにDAISY図書のデータ内を見出しごとに前後に移動します。

* 1. レベル

DAISY図書でのみ使用できます。この項目を選択すると、左右矢印キーを押すたびにDAISY図書のデータ内を指定したレベルごとに前後に移動します。レベルの数は図書によって異なりますが、ブックリーダーはレベル1から6まで対応可能です。

* 1. フレーズ

DAISY図書でのみ使用できます。フレーズは録音図書の朗読者が息継ぎをするまでの単位です。全てのDAISY図書で対応できるわけではありません。カセットテープから作り直したNLS booksでフレーズのマークがされていることが知られています。

この項目を選択すると、左右矢印キーを押すたびにDAISY図書のデータ内をフレーズごとに前後に移動します。

* 1. ページ

左右矢印キーを押すことで前後に1ページずつ移動します。

* 1. 段落

左右矢印キーを押すことで前後に1段落ずつ移動します。

* 1. 文

左右矢印キーを押すことで前後に1文ずつ移動します。この項目は文書データ化テキストDAISYでのみ使用できます。

* 1. 行

左右矢印キーを押すことで前後に1行ずつ移動します。この項目は文書データ化テキストDAISYでのみ使用できます。

* 1. 単語

左右矢印キーを押すことで前後に1単語ずつ移動します。この項目は文書データ化テキストDAISYでのみ使用できます。

* 1. 文字

左右矢印キーを押すことで前後に1文字ずつ移動します。この項目は文書データ化テキストDAISYでのみ使用できます。

1. 再生時間ごとの移動

DAISY図書でのみ使用できます。30秒、3分、10分ごとに移動することができます。上下矢印キーで時間を選び、左右矢印キーで前後に移動します。

1. 先頭または末尾へ移動

左矢印キーを押すと文書の先頭へ移動し、右矢印キーを押すと文書の末尾へ移動します。

1. コンテンツ

コンテンツを選択した状態で左右矢印キーを押すと、ブレイズETで使用できる図書と文書のコンテンツを選択することができます。

## 7.4　簡易移動

右矢印キーや左矢印キーを長押しすることで、文書やDAISY図書データ内の移動を素早く行う事ができます。右矢印キーを押すと先へ、左矢印キーを押すと前へ移動します。

この移動機能はデータの再生中にのみ使用できます。例えばDAISY再生中に右矢印キーを長押ししてください。30秒、1分、3分・・・と読み上げます。テキストDAISYや文書データを読んでいる最中に右矢印キーを長押しすると、5文、10文、15文・・・と読み上げます。長く押せば押すほど大きく移動します。自分の移動したい位置まで読み上げたら長押ししている矢印キーを離してください。最後に読み上げた位置へ移動します。

## 7.5　指定移動

これまでの移動方法に加えて、文書ファイルや図書データ内で指定した位置に移動することができます。

### 7.5.1　時間を指定して移動

指定した時間分移動したい場合、データ再生中に２を押してください。現在の経過時間と全体の再生時間が表示され、指定したい時間を入力するエディットボックスが開きます。時間は6桁で入力します。最初の2桁は時間、次の2桁は分。最後の2桁は秒を表します。データ再生時間5分20秒の位置に移動したい場合は「000520」と入力してください。このエディットボックスで左右矢印キーを押すと入力した数字を確認することができます。またアスタリスクキーを押すことでひとつ前の文字を削除することができます。

指定したい時間を入力したらOKボタンを押してください。指定した時間の位置から再生を開始します。

メニューからこの機能を実行する場合は、メニューボタンを押してメニューを開き、下矢印キーを押して「時間指定移動」と読み上げたらOKボタンを押してください。またはメニューを開いた状態でテンキーの２を押しても時間指定移動を実行します。

### 7.5.2　パーセンテージ指定移動

パーセンテージを指定して移動したい場合、データ再生中に５を押してください。現在位置のパーセンテージが表示され、移動したいパーセンテージの入力エディットボックスが開きます。テンキーを使って移動したい位置のパーセンテージを入力してください。入力後OKボタンを押すと指定したパーセンテージの位置から再生を開始します。

メニューからこの機能を実行する場合は、メニューボタンを押してメニューを開き、下矢印キーを押して「パーセンテージ指定移動」と読み上げたらOKボタンを押してください。またはメニューを開いた状態でテンキーの5キーを押してもパーセンテージ指定移動を実行します。

### 7.5.3　見出し指定移動

DAISY再生中に見出しを指定して移動したい場合、DAISY再生中に４を押してください。現在位置の見出し番号と全体の見出し数が表示され、移動したい見出し番号の入力エディットボックスが開きます。テンキーを使って移動したい位置の見出し番号を入力してください。入力後OKボタンを押すと指定した見出しの位置から再生を開始します。

メニューからこの機能を実行する場合は、メニューボタンを押してメニューを開き、下矢印キーを押して「見出し指定移動」と読み上げたらOKボタンを押してください。またはメニューを開いた状態で４を押しても見出し指定移動を実行します。

### 7.5.4　ページ指定移動

図書データや文書データ再生中にページを指定して移動したい場合、再生中に６を押してください。現在位置のページ番号と全体のページ数が表示され、移動したいページ番号の入力エディットボックスが開きます。テンキーを使って移動したい位置のページ番号を入力してください。入力後OKボタンを押すと指定したページから再生を開始します。

メニューからこの機能を実行する場合は、メニューボタンを押してメニューを開き、下矢印キーを押して「ページ指定移動」と読み上げたらOKボタンを押してください。またはメニューを開いた状態で６を押してもページ指定移動を実行します。

### 7.5.5　追加移動機能

データ再生中に以下のキーストロークを実行するとそれぞれの移動が可能です。

1. １：図書や文書の先頭へ移動
2. ７：図書や文書の末尾へ移動
3. ３：前のページへ移動
4. ４：次のページへ移動

### 7.5.6　文字列検索

文書データを再生する場合、文字列検索を使用できます。文字列検索は以下の手順で行います。

1. 文書データ再生中に８を押してください。
2. エディットボックスが開きますので、検索したい文字列を入力してOKボタンを押してください。
3. 入力した文字列が、文書内で一致した場合現在位置から一番近い位置の一致した文字列へ移動します。文字列が一致しなかった場合「単語が見つかりません」と読み上げ、検索文字列入力エディットボックスへ戻ります。

シャープキーを押すことで記号、数字、英小文字、英大文字、かなの入力モードが切り替わります。（文字入力の方法については4.9章をご参照ください。）アスタリスクキーを短く押すとひとつ前の文字を削除します。アスタリスクキーを2秒以上長押しするとエディットボックス内の文字を全て削除します。

メニューからこの機能を実行する場合は、メニューボタンを押してメニューを開き、下矢印キーを押して「文字列検索」と読み上げたらOKボタンを押してください。またはメニューを開いた状態で８を押しても文字列検索を実行します。

　※現状漢字を含む文字列の検索に対応できていません。「かな」を使った場合「かな」のみの検索となります。

## 7.6　閲覧中の図書またはファイルの情報確認

レビューボタンを押すと、現在再生中のデータ情報を確認することができます。表示できる情報は再生しているデータの種類によって異なります。

文書データの再生中にレビューボタンを短く押すと以下の情報を確認することができます。

1. ファイル名：ファイルの名前とデータ形式を読み上げます。
2. ページ情報：現在のページ番号を読み上げます。
3. マーク情報：再生中のデータに設定されているマーク数を読み上げます。マークが設定されていない場合、マーク情報は表示しません。
4. パーセンテージ情報：現在再生中の場所が文書全体の何パーセントの位置にあるかを読み上げます。

レビューボタンを2秒以上長押しすると「詳細」ダイアログボックスが開きます。詳細ダイアログでは上記情報をリスト形式で表示します。

詳細情報リストでは上下矢印キーを押すことで項目を変更し、左右矢印キーを押すことで内容を1文字ずつ確認することができます。

詳細ダイアログを閉じたい場合はOKボタンか取り消しボタンを押してください。

DAISY図書再生中にレビューボタンを短く押すと以下の情報を確認することができます。

1. タイトル：現在再生中の図書のタイトルを読み上げます。
2. マーク情報：設定されているマーク情報を読み上げます。
3. ページ情報：図書全体のページ数と現在再生中の箇所のページ数を読み上げます。
4. 見出し情報：現在再生中の箇所の見出し情報を読み上げます。
5. 時間情報（音声DAISYのみ）：全文再生にかかる時間と、現在再生中の箇所までの経過時間を読み上げます。

## 7.7　マーク

図書や文書の特定箇所にマークを付ける事で、簡単に後から読み返したい場所を探すことができます。ブレイズETではブックマーク、音声マーク、ハイライトマークを設定することができます。

最大999個のマークを設定することができます。これらのマークはブックマーク、音声マーク、ハイライトマーク合計の数です。マークの番号はマークの種類が異なっていても、同じ番号は使用できません。

### 7.7.1　ブックマークの挿入

以下の方法でブックマークを挿入する事ができます。

1. ブックマークを付けたい箇所でシャープキーを押してください。
2. マークマネージャーメニューが開き、最初のメニュー項目「ブックマーク挿入」が表示されます。
3. OKボタンを押してください。
4. マークの番号入力エディットボックスが開きます。
5. マークの番号をテンキーで入力してください。
6. 番号入力後、OKボタンを押すとマークを保存します。

既に同じ番号のマークがついていた場合、「その番号はすでに使われています。」と読み上げてマーク番号入力エディットボックスに戻ります。使われていない番号をあらためて入力してください。

取り消しボタンを押すとマークマネージャーを終了することができます。

### 7.7.2　音声マークの挿入

音声マークは録音した音声をマークとしてデータに挿入する機能です。

以下の手順で音声マークを挿入することができます。

1. ブックマークを付けたい箇所でシャープキーを押してください。
2. マークマネージャーメニューが開き、最初のメニュー項目「ブックマーク挿入」と読み上げます。
3. 何度か下矢印キ―を押して「音声マーク」と読み上げたらOKボタンを押してください。
4. 「録音開始」と読み上げます。40秒間、音声マークを録音することができます。
5. 録音が終わったらOKボタンを押してください。
6. 次に音声マークの番号入力エディットボックスが開きます。
7. 音声マークの番号をテンキーで入力してください。
8. 番号入力後、OKボタンを押すと音声マークを保存します。

既に同じ番号のマークがついていた場合、「その番号はすでに使われています。」と読み上げてマーク番号入力エディットボックスに戻ります。使われていない番号をあらためて入力してください。

取り消しボタンを押すとマークマネージャーを終了することができます。

### 7.7.3　ハイライトマークの挿入

文書や図書の特定の範囲にマークを付けたい場合、ハイライトマークを挿入することができます。マーカーで線を引くように特定の文章全体にマークをつけることができます。

以下の手順でハイライトマークを挿入することができます。

1. ハイライトマークを付けたい箇所で＃キーを押してください。
2. マークマネージャーメニューが開き、最初のメニュー項目「ブックマーク」と読み上げます。
3. 次に「ハイライトマーク」と読み上げるまで下矢印キーを押したらOKボタンを押してください。
4. 現在再生中の箇所がハイライトマークの開始位置として登録され、再生が再開します。
5. ハイライトマークとして登録したい箇所の最後まで再生されたら再度OKボタンを押してください。ハイライトマークの開始位置と終了位置を指定します。
6. 次にハイライトマークの番号入力エディットボックスが開きます。
7. ハイライトマークの番号をテンキーで入力してください。
8. 番号入力後、OKボタンを押すとハイライトマークを保存します。

既に同じ番号のマークがついていた場合、「その番号はすでに使われています。」と読み上げてマーク番号入力エディットボックスに戻ります。使われていない番号をあらためて入力してください。

取り消しボタンを押すとマークマネージャーを終了することができます。

### 7.7.4　マークへ移動

挿入したマークへ移動する方法は2つあります。ひとつは再生中にマーク単位で移動する方法。もうひとつはマークマネージャーを使ってマークを指定して移動する方法です。

マークの数が少ない場合はマークを順番に移動する方法が簡単ですが、データにたくさんのマークが付いている場合は指定して移動した方が便利です。

マーク単位で移動する方法は以下の通りです。

1. 再生中に上下矢印キーを押して移動単位をマークに設定してください。
2. 次に左右矢印キーを押してマーク単位で移動します。右矢印キーは次のマークへ、左矢印キーは前のマークへ移動します。

マークマネージャーを使ってマークを指定して移動する方法は以下の通りです。

1. 再生中に＃キーを押してください。
2. マークマネージャーメニューが開き、最初のメニュー項目「ブックマーク挿入」と読み上げます。
3. 次に「マーク移動」と読み上げるまで下矢印キーを押したらOKボタンを押してください。
4. 移動したいマーク番号を指定するためのエディットボックスが開きます。
5. 移動先のマーク番号を入力してください。
6. OKボタンを押すと指定したマークへ移動してデータを再生します。

途中でマークマネージャーを終了したい場合は取り消しボタンを押してください。

### 7.7.5　マークの削除

以下の手順でマークを削除します。

1. データ再生中に＃キーを押してください。
2. マークマネージャーメニューが開き、最初のメニュー項目「ブックマーク」と読み上げます。
3. 次に「マークの削除」と読み上げるまで下矢印キーを押したらOKボタンを押してください。
4. 削除したいマーク番号を指定するためのエディットボックスが開きます。
5. 削除したいマーク番号を入力してください。
6. OKボタンを押すと入力した番号のマークを削除します。

途中でマークマネージャーを終了したい場合は取り消しボタンを押してください。

## 7.8　音量と速度の設定

音量ボタンを使って音声設定の各種調整を行う事ができます。調整できる設定は読書音声ボリュームと、読書音声ピッチ、プリアンプレベル、再生速度の4つです。ボイスコントロールボタンを押すたびに調整できる設定が切り替わります。設定できる内容は再生するデータの種類によって異なります。例えば、音声DAISYの再生中はプリアンプレベルの調整はできますが、合成音声の音声設定である「読書音声ボリューム」の設定はできません。

読書音声ボリューム：

合成音声のボリュームを1から15の段階に調整できます。文章再生またはテキストDAISY再生時に使用します。

読書音声ピッチ：

合成音声の読み上げピッチを1から15の段階に調整できます。文章再生またはテキストDAISY再生時に使用します。

プリアンプレベル：

録音した音声は音量の基準値が全て同じとは限りません。録音音声の音量を調整することができます。初期値は0です。-4から6の値に設定して調整することができます。音声DAISYでのみ使用可能です。

再生速度：

再生速度を1から15の段階に調整できます。音声DAISY、テキストDAISY、文書ファイル再生時に使用できます。

ボイスコントロールボタンを押して設定項目を選択し、各項目の設定変更にはボリュームボタンを使います。数値を増やす場合はボリュームアップボタンを押し、数値を減らす場合はボリュームダウンボタンを押します。

例えば、再生速度を変更する場合はボイスコントロールボタンを2回押して再生速度の設定モードに切り替えます。次にボリュームボタンを押して数値を調整します。

## 7.9　DAISYモードの切り替え

マルチメディアDAISYは音声データとテキストデータをどちらも再生可能なDAISYです。ブレイズETは音声再生とテキスト再生を切り替えて再生することができます。

マルチメディアDAISYのコンテンツを開いた状態でテンキーの3キーを長押ししてください。テンキーの3キーを長押しするたびに音声再生とテキスト再生が切り替わります。

## 7.10　エクスプローラー

エクスプローラーを使うと再生したい図書や文書のデータを簡単に探すことができます。

### 7.10.1　エクスプローラーの実行と終了

図書や文書データの再生中にメニューボタンを長押しするとエクスプローラーを実行します。エクスプローラーが開くと図書データと文書データのリストが表示されます。エクスプローラーを終了する場合は取り消しボタンを押してください。

エクスプローラーは5章で説明したファイル管理とよく似ていますが、ブックリーダーで再生可能なデータやフォルダだけを表示します。また、エクスプローラーではファイル管理のように、データをコピーしたり、zipファイルを展開したり、データを削除したりすることはできません。

### 7.10.2　エクスプローラーでの操作

エクスプローラーでは以下のキーストロークで操作することができます。

リスト項目の移動：上下矢印キー

フォルダから出てひとつ前に戻る：左矢印キー

フォルダの中に入る：右矢印キー

ファイルやフォルダのデータを再生する：OKボタン

ルートディレクトリに戻る：シャープキー

リストの先頭へ移動：１

リストの末尾へ移動：７

25項目前へ移動：３

25項目後へ移動：９

### 7.10.3　指定した項目へ移動

エクスプローラーのリストで８を押すと、リスト番号指定のエディットボックスが表示されます。指定したいデータが、エクスプローラーに表示されているリストの何番目かわかっている場合、テンキーで数字を入力して、OKボタンを押すとその位置のデータ項目へ移動します。

### 7.10.4　ファイルリストとフォルダリスト間の移動

エクスプローラー使用中、リスト内にフォルダとファイルが両方ある状態で２を押すと、リスト内のファイルからフォルダ（またはフォルダからファイル）へ移動できます。

再生したいファイルまで来たら、OKボタンを押して再生できます。０を使って５章で説明した複数選択を行うことも可能です。特定のフォルダ内のすべての項目を再生したい場合は、リスト内にあるフォルダを選択し、OKボタンを押すと、すべての項目がプレイリストに追加されます。

※複数のデータを同時に選択する操作は文書ファイルでのみ使用できます。

DAISY図書は1冊ずつしか再生できません。複数のファイルを選択した場合、再生中の移動オプションからコンテンツを使ってください。

フォルダ内の全てのデータを再生したい場合は、そのフォルダが表示された状態でOKボタンを押してください。フォルダ内の全てのファイルがプレイリストに加えられます。

### 7.10.5　ファイルとフォルダの情報確認

以下のキーストロークでエクスプローラー内のファイルまたはフォルダの各種情報を確認することができます。

項目名の読み上げ：レビューボタンを短く押す

選択されているファイルやフォルダの詳細ダイアログの表示：レビューボタン長押し（2秒以上）

ファイルまたはフォルダ名を1文字ずつ前に読み上げ：４

ファイルまたはフォルダ名の現在カーソルのある1文字を読み上げ：５

ファイルまたはフォルダ名を1文字ずつ次に読み上げ：６

## 7.11　DAISYと文書の設定

DAISY図書や文書データを読む際にいくつかの設定をすることができます。DAISY図書と文書データでは設定できる内容が異なります。

以下設定の手順です。

1. メニューキーを押してブックリーダーのメニューを開いてください。
2. 次に上下矢印キーを押して「設定」の項目を探してください。
3. 「設定」と読み上げたらOKボタンを押して実行してください。

またはメニューを開いた状態で７を押しても「設定」を実行できます。

DAISY図書の設定には「基本設定」と「音声設定」の2つのサブメニューがあります。文書データの設定は「音声設定」のみです。

7.11.1　基本設定

基本設定には以下の2つの設定項目があります。

DAISYタイプ：

マルチメディアDAISYを再生する際に音声DAISYで再生するか、テキストDAISYで再生するかを設定します。左右矢印キーを押して音声とテキストを選択します。またはDAISY図書を再生中に３を長押ししても切り替え可能です。

連続再生中のタグスキップ：

タグ情報を読み上げるかどうかを設定します。左右矢印キーを押して「はい」と「いいえ」を切り替えることができます。

設定変更後、OKボタンを押すと設定を保存して基本設定を終了します。取り消しボタンを押すと設定変更を保存せずに基本設定を終了します。

### 7.11.2　音声設定

音声設定では合成音声や録音音声の「読み上げ速度」と「ピッチ」、「音量」をコンテンツ再生中に調整することができます。同じ設定を音声コントロールボタンで設定することも可能です。

上下矢印キーで設定したい項目を選択し、左右矢印キーで各項目の設定値を調整します。

## 7.12　文書や図書再生中の操作

再生／一時停止：OKボタン

早送り：右矢印キーを長押し

巻戻し：左矢印キーを長押し

データ情報の表示：レビューボタン

次へ移動：右矢印キー

前へ移動：左矢印キー

上下矢印キー：移動単位の変更

エクスプローラーを開く：メニューボタン長押し

メニューを開く：メニューボタンを短く押す

# 8.FMラジオを楽しむ

FMラジオの再生や、手動/自動スキャン、設定、録音に関する方法を説明します。FMラジオは、76MHzから108MHzの周波数のローカル局にチューニングできます。

【注意】ラジオの電波を受信するためには、アンテナとしてヘッドホンケーブルやオーディオパッチコードを接続する必要があります。本体のヘッドホンジャックにヘッドホンもしくはパッチコードを接続してください。

## 8.1 ラジオの再生

FMラジオを再生するには、ホームメニューから上下矢印キーで「ラジオ」を選択し、OKボタンを押してください。または、ホームボタンを押して、４を押してください。

もしも、ラジオの電波を受信できていない場合は、次の点を確認してください。

* 1. ヘッドホンジャックに、ヘッドホンあるいはオーディオパッチコードが接続されているか確認してください。
  2. 放送局を受信できない場合、左矢印あるいは右矢印で周波数を調整してください。
  3. 場所や環境によっては、ラジオの受信ができない場合もあります。

ラジオをミュートにするには、OKボタンを軽く１回押してください。ラジオの再生を再開するには、もう一度OKボタンを軽く押してください。ラジオ再生を終了し、ホームメニューに戻るには、キャンセルボタンを押してください。ラジオの再生中に、レビューボタンを押すと、現在の周波数と、モノラル受信であるかステレオ受信であるかをアナウンスします。

## 8.2 ラジオの音量調整

左側面の2つの音声設定ボタンを使うと、ラジオの音量を調節することができます。音声設定上ボタン（上向き三角のボタン）を押すと音量が大きくなり、音声設定下ボタン（下向き三角のボタン）を押すと音量が小さくなります。

## 8.3 周波数のナビゲーション

左矢印キーあるいは右矢印キーで、0.05MHzずつ周波数を調整できます。受信可能な周波数は、76MHzから108MHzの間です。

自動的に放送局を検出するには、左矢印キーあるいは右矢印キーを押し続けます。

## 8.4 放送局のチャンネル登録

いつも聴く放送局が決まっている方は、ラジオメニューを開くたびに周波数の調整をすることが面倒に感じるかもしれません。そのようなときは、お気に入りの周波数を登録することができます。登録したい周波数にチューニングした状態で、１から６の中のひとつを長押しすると、その周波数が登録されます。既に登録されている周波数がある場合は、上書き保存をするか確認されるので、左矢印キーあるいは右矢印キーを使って「はい」か「いいえ」を選び、OKボタンを押してください。

周波数登録後は、ラジオ実行中に対応するテンキーを押すことで、すぐにその周波数に移動できます。

### 8.4.1放送局の自動スキャン

現在受信できるすべての放送局を自動登録することができます。それには、FMラジオを付けた状態で、０を押します。すると、周辺の放送局を自動的に探索し、検出された放送局が登録されます。

【参考】下矢印キーを長押しすると、放送局探索の感度を高めることができます。しかし、感度が高まることにより、音声を明瞭に聞き取れない放送局も多数検出される可能性があるので、注意してください。

登録された周波数を選択するには、上矢印キーと下矢印キーを使用します。いちばん最後に登録された周波数に到達し、もう一度下矢印キーを押すと、いちばん最初に登録された周波数に戻ります。また、周波数の数字が小さい順に自動的に１から６のチャンネルに登録されます。

登録を消去する場合は、対象の周波数に合わせ、キャンセルボタンを長押ししてください。

### 8.4.2周波数を指定して移動

特定の周波数に移動するには、ラジオ再生中に８を押した後、その周波数を入力し、OKボタンを押します。小数点を入力するには、テンキーの1を長押しします。

## 8.5 内蔵スピーカーの使用

メニューキーを押して、上下矢印キーで「スピーカー設定」を選択してください。OKボタンを押すと本体スピーカーからも音が出ます。イヤホンからのみ音を出したい場合は再度同じ動作を行ってください。

またはテンキーの９押してもスピーカーを切り替える事ができます。

## 8.6 ラジオの録音

再生しているラジオを録音するには、録音ボタンを２秒間押してください。録音が開始されると、設定によって、録音開始の効果音や音声が流れます。

録音を一時停止したいときは、録音ボタンを軽く１回押します。録音を再開するには、録音ボタンをもう一度押します。録音を停止し、保存する際は、OKボタンを押します。また、「録音設定」の中で、録音が完了したことを確認できます。

録音を取り消す場合は、キャンセルボタンを押します。録音を本当にキャンセルするか確認されるので、キャンセルするときはOKボタンを、キャンセルしないときはキャンセルボタンをもう一度押してください。

録音されたファイルは、フラッシュディスクのラジオフォルダに保存されます。このとき、周波数と録音日時と時間がタイトルに記録されます。

以下、FMラジオの録音設定の手順です。

* 1. メニューキーを押して、ラジオメニューを開きます。
  2. 上矢印キーあるいは下矢印キーで「録音設定」を選び、OKボタンを押します。あるいは、ラジオメニューを開いた状態でテンキーの6を押します。
  3. 「ラジオ録音設定」のダイアログが開かれたら、上下矢印キーで設定項目を選び、左右矢印キーで設定を変更します。

「ラジオ録音設定」の設定項目は以下の通りです。

録音フォーマット：WAVファイルまたはMp3ファイルを選びます。

## 8.7　FMラジオの操作

周波数を0.1ずつ増やす：右矢印キー

周波数をプラス方向に自動検索：右矢印キーを長押し

周波数を0.1ずつ減らす：左矢印キー

周波数をマイナス方向に自動検索：左矢印キーを長押し

周波数の直接入力：８

※周波数入力時の小数点の入力：１長押し

受信可能な放送局の自動スキャン：０

チャンネル登録：周波数を合わせた状態で登録したい番号を長押し

登録したチャンネルに移動：登録した番号を押す

# 9 録音

録音の方法と録音したデータの再生方法、また録音に関する設定について説明します。

ブレイズはヘッドセットのマイクやFMラジオの音声、内部マイク及び外付けマイク、ライン入力を使って録音することが可能です。また、録音の音質やマイクの感度も調整することが可能です。

## 9.1　録音する

ボイスレコーダーの様にメディアプレーヤーを使って録音する場合、録音ボタンを長押ししてください。

＜参考＞FMラジオを使用中に録音ボタンを長押しすると、FMラジオの録音を行います。また、録音設定によって、録音開始時にビープやメッセージで開始を知らせるか、知らせないか等を設定することできます。

1. 録音を一時停止：録音ボタンを短く1回押す。再度録音ボタンを短く押すと録音を再開します。
2. 録音を終了してデータを保存する：OKボタンを押す
3. 録音取り消し：キャンセルボタンを押す。

録音を取り消しますか？とアナウンスがあります。録音を取り消す場合OKボタンを押してください。録音取り消しを取り消す場合はキャンセルボタンを押してください。

※録音開始の通知は録音設定の録音通知を設定すると行われます。設定すると録音開始時、一時停止実行時、録音終了時に通知が行われます。

録音したデータは本体フラッシュディスクのRecordフォルダに保存されます。録音した日付と時刻がファイル名になります。

外部マイクを使う場合、マイクを本体に接続すると自動的に外部マイクを使用して録音できます。

ライン入力を使用する場合、録音を開始する前に録音設定の音源オプションでライン入力に設定してください。

## 9.2　録音したデータの再生

録音ボタンを短く1回押すと、これまでに内蔵マイクや外部マイク、ライン入力で録音したデータのリストが表示されます。左右矢印キーでデータを選択し、メディアプレーヤーと同様の操作でデータを再生することができます。

## 9.3　録音したデータの検索と削除

メディアプレーヤーやブックリーダーと同様にエクスプローラーを使ってデータを探すことができます。ラジオを録音したデータを含む全ての録音データを確認したい場合は録音モード中にメニューキーを長押ししてください。

録音データは録音された日付順のリストになって表示されます。上下矢印キーで録音データを選択し、フォルダになっている場合右矢印キーでフォルダ内に移動します。フォルダ内で左矢印キーを押すとフォルダの外に移動します。再生したいファイル名を読み上げたところでOKボタンを押すとデータを再生します。

エクスプローラーではデータの削除はできません。削除する場合はファイル管理を実行して、削除したいデータを読み上げた状態でキャンセルボタンを長押ししてください。全ての録音データやラジオのデータを削除したい場合は、それぞれのフォルダ名を読み上げた状態でキャンセルボタンを長押ししてください。フォルダごと削除します。

削除を実行すると、「本当に削除しますか？」と確認メッセージが表示されます。削除する場合はOKボタンを押してください。削除を取り消す場合は取り消しボタンを押してください。

録音モード中やエクスプローラー実行時に上矢印キーか下矢印キーを長押しすると参照先をフラッシュディスクかSDカードか切り替えることができます。

## 9.4　録音設定（オプション）

オプションの録音設定では「マイク感度」、「音質」、「録音音源」、と「録音データ保存先」を設定できます。また、録音形式は「通常録音」か「DAISY録音」に設定することが可能です。

録音設定は以下の手順で実行できます。

1. ホームキーを押してホームメニューを開いてください。
2. 上下矢印キーを何度か押して「オプション」と読み上げたらOKを押してください。
3. 再度上下矢印キーを何度か押して「録音設定」と読み上げたらOKを押してください。

録音設定ダイアログが開き最初の項目の「録音方式設定」と読み上げます。

上下矢印キーを押して設定項目リストを選択することができます。設定項目名を読み上げたところで左右矢印キーを押すと設定内容を変更することができます。

### 9.4.1　録音方法

通常録音とDAISY録音を選択できます。

### 9.4.2　録音音質

高音質WAV、高音質MP3、標準音質、会話音質、ユーザ定義から設定できます。

各音質の詳細は以下の通りです。

　高音質WAV：

サンプルレート＝44100Hz、ビットレベル＝16Bit、チャンネル＝ステレオ

高音質MP3：

サンプルレート＝44100Hz、ビットレート＝320kbps、チャンネル＝ステレオ

標準音質(MP3)：

サンプルレート＝44100Hz、ビットレート＝192kbps、チャンネル＝ステレオ

会話音質(MP3)：

サンプルレート＝22050Hz、ビットレート＝64kbps、チャンネル＝モノラル

ユーザ定義：

下矢印キーを押すと各設定を表示します。自分の好みの設定を行ってください。

### 9.4.3　録音ソース

マイク、ヘッドセットマイク、ライン入力から設定できます。

各設定については以下の通りです。

マイク：内蔵マイクと外付けマイクを使います。外付けマイクを接続すると外付けマイク、接続しない状態だと内蔵マイクを使用します。

ヘッドセットマイク：マイクを内蔵したApple互換のヘッドセットを使用します。

ライン入力：ライン入力ケーブルを接続して、外部の音声再生器の音声を録音します。

＜参考＞ライン入力やヘッドセットを設定したにも関わらず、ライン入力もヘッドセットも接続していない状態で録音すると、自動的に内蔵マイクを使って録音します。

### 9.4.4　マイクの感度

レベル1から5まで選択できます。

大きな音を録音する場合は低いレベルの設定が適していて、静かな環境で小さな音を録音したい場合は高いレベルでの録音が適しています。

### 9.4.5　録音の警告設定

ビープ、メッセージ、オフから設定できます。

通知は録音開始時、一時停止実行時、録音終了時に行われます。

### 9.4.6　録音をディスクに保存

フラッシュディスク、SDカードから選択できます。設定した保存先に録音データは保存されます。

## 9.5　DAISY形式の録音

ブレイズETはWAVとMP3録音を使ったDAISY形式の録音に対応しています。

DAISY形式で録音するためには「録音設定」の「録音方法」で「DAISY録音」に設定してください。

DAISY形式で録音を開始すると、最初にタイトルの録音を行います。約20秒間でタイトルを録音してください。約20秒経過すると自動的に見出しレベル1の録音を開始します。録音中に、録音データに対してナビゲーションのポイントを設定することが可能です。

1. 見出しを挿入する：４
2. フレーズを挿入する：２
3. ページを付け加える：６

録音を終了すると、「作成中」と読み上げDAISYデータの作成を開始します。

DAISY形式で録音したデータは録音ボタンからは再生できません。

ブックリーダーを使って再生してください。

録音したDAISY形式のデータはフラッシュディスクのDAISYフォルダ内のRecordフォルダに保存されます。

## 9.6　録音操作

録音開始：録音ボタン長押し

録音一時停止：録音中に録音ボタンを短く押す

録音再開：録音一時停止中に録音ボタンを短く押す

録音終了：録音中にOKボタンを押す

録音キャンセル：録音中に録音ボタンを長押し

DAISY録音のみ

見出しの挿入：４

フレーズの挿入：２

ページを付け加える：６

# 10 OCRで印刷物の情報を読み上げる

OCRとは「Optical Character Recognition」の略称で、画像内の文字を読み取る、光学式文字読取装置のことを指します。ブレイズは5メガピクセルのカメラで写真を撮影し、内蔵のOCRソフトウェアを介して文字を読み取り、テキスト化します。

## 10.1 OCRの起動と終了

OCRを実行するには、本体のOCRボタンを押してください。OCRボタンは、電源ボタンの右下にあるボタンです。OCRメニューが開くと、「写真を撮影」という項目が読み上げられます。上矢印キーあるいは下矢印キーを使って、OCRメニュー内を移動できます。以下、OCRメニューの一覧です。

1. 写真を撮影できます
2. フラッシュオン/オフ：左矢印キーあるいは右矢印キーで設定する。
3. 認識結果：過去に撮影され文字が認識された画像のファイルリストを開く。
4. 撮影した画像ファイルを解析する：過去に撮影された画像を開き、文字を再度読み取る。
5. 外部の画像ファイルを解析する：ブレイズETで撮影していない画像ファイルを開いて読み取る。
6. オプション：読み取られた画像や保存されたファイルを設定する。

キャンセルボタンを押すと、OCRプログラムが終了し、ホームメニューに戻ります。

## 10.2 写真撮影

画像を撮影する方法は２つあります。一つ目はブレイズを手に持つなどして撮影する方法、もう一つは、付属のOCRスタンドを使って撮影する方法です。

### 10.2.1 OCRスタンドを使わずに撮影する方法

1. 肘を机などに置いて、動かないよう固定する。
2. ブレイズを対象物と水平になるように持つ。
3. OCRボタンを押してOCRプログラムを開く。
4. OCRボタンをもう一度押して写真を撮影する。

ブレイズは写真を撮影し、自動的に文字を解析する字の解析中はビープ音が鳴ります。解析が終わると自動的に文字を読み上げます。

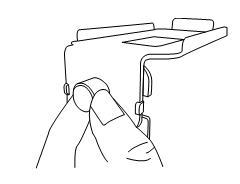
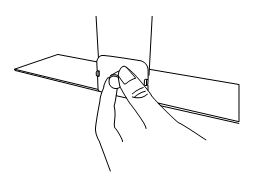
【注意】基本的に、カメラを対象物から20～30㎝程度離して撮影してください。小さい文字を読み取るときは、カメラを少し近づけて撮影してください。

### 10.2.2 スタンドを使って撮影する方法

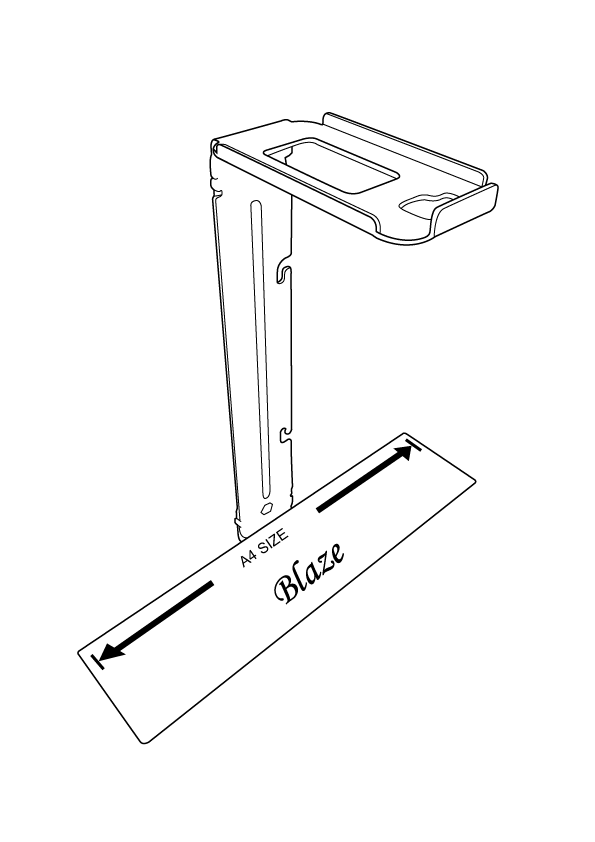
１)スタンドの組み立て

OCRスタンドは3つのパーツを組み立てて使用します。

柱のパーツに土台のパーツとブレイズを置くパーツをネジ止めしてください。



**柱と土台パーツ**　　　　　　　　　　**柱とブレイズを置くパーツ**



右図の様に完成します。

ブレイズのカメラ部分を隠さないように

本体を設置してください。

**完成**

２）OCR読取

スタンドの土台にA4用紙を置いた状態で、OCRボタンを押してください。

「写真を撮影」と読み上げます。

続けてもう一度OCRボタンを押すと撮影します。

### 10.2.3 OCR撮影補助機能

OCRのオプションに「プレビューエリア」機能と「イメージエリア」機能の設定があります。オプションについての詳細は、「10.6 OCRの設定」で説明します。

これらの機能はOCR撮影時の位置確認をサポートする機能です。特にスタンドを使わずにOCR撮影を行う際に使用すると効果的です。

1. プレビューエリア

左右矢印を押してプレビューエリアのオンとオフを切り替える事ができます。オンに設定すると、オプションの設定項目に「本体の向き」と「テキスト検出の通知方法」が追加で表示されます。

プレビューエリアがオンになると、カメラに写っている範囲内に文字情報を検出できているかをビープ音とメッセージで案内・通知します。

ブレイズはテキストが撮影プレビューに収まっているかを確認し、ブレイズの上下（高さ）と左右の位置をナビゲートします。上下左右の位置を変えても画面に収まらない場合は前後の位置を変えてお試しください。テキストが画像に収まるとビープ音や、「テキストを検出しました」というメッセ―ジを表示しますので、OKボタンを押して撮影してください。

本体の向き：

左右矢印を押して「左に電源ボタン」と「右に電源ボタン」から選びます。OCRスタンドを使った場合のように本体を横向きにした際、電源ボタンが左右どちらになるかを設定してください。

テキスト検出の通知方法：

左右矢印を押して「ビープ音」、「メッセージ」、「すべて」から選択します。

1. イメージエリア

左右矢印を押してイメージエリアのオンとオフを切り替える事ができます。オンに設定すると、撮影対象の文字がイラストや背景色に紛れている場合や複数の向きに書かれた文章の読取精度が向上する可能性があります。オンに設定することで、OCR認識に時間が掛かるようになります。

## 10.3 写真の連続スキャン

複数の写真を、ひとつのファイルとして保存することができます。例えば、複数のページに亘る本や文書などを連続して撮影すると、それらをひとつのファイルとして認識し、保存されます。

この機能を使うには、OCRメニューのオプション設定の「連続スキャン」をオンにする必要があります。オプション設定を開くと、最初に「連続スキャン」と読み上げます。初期設定では、連続スキャンはオフになっています。左矢印キーあるいは右矢印キーを押すと、「オフ」、「手動」、または5～9秒の中から1秒刻みで好きな秒数を選択できる「連続スキャン」を選択できます。

1. オフ：画像を1枚ずつ個別に保存します。
2. 手動：OCRボタンを押すたびに写真を撮影します。必要な画像を撮影し終わったらOKを押してください。撮影した画像を全てまとめて1つのファイルとして保存します。
3. 5秒から9秒の連続撮影：設定した時間ごとに連続で撮影します。OKボタンを押すと撮影を終了して1つのデータとして保存します。連続撮影中にOCRボタンを押すと一時停止します。

【参考】連続撮影を使用すると、撮影を実行した際のシャッター音の後、1枚撮影完了したことを示す音が「ピッ」と鳴ります。この撮影完了音から、次のシャッターまでの時間が連続撮影の時間となります。5秒から9秒の設定となっていますが、実際には若干遅めに撮影します。5秒から9秒の表記はあくまで目安となります。ご了承ください。

設定変更後、OKボタンを押すと、設定が保存され、OCRメニューに戻ります。「連続撮影」の設定を選択しているとき、撮影開始時は「○秒連続撮影」と読み上げます。OKボタンを押すと撮影が始まります。もう一度OCRボタンを押すと、連続撮影を一時停止することができます。OKボタンを押すと撮影を終了し、画像の解析と保存を行います。

キャンセルボタンを押すと、連続撮影はキャンセルされます。

## 10.4　保存するファイル名の形式

OCRのオプション設定に「保存するファイル名の形式」という項目があり、保存したデータの名前をどのように付けるか選択する事ができます。

左右矢印キーを押すと、設定項目を変更します。選択できる項目は「日付と時刻」と「カスタム」です。「日付と時刻」を選択すると、作成された日付と時間がファイル名になります。「カスタム」を選択すると、自分の好きなファイル名で保存することができます。「カスタム」を選択し、下矢印キーを一度押すと、編集ボックスが開き、そこでファイル名を入力できます。

## 10.5 OCR結果の読み上げ

OCR結果を読み上げる方法はいくつかあります。

画像が撮影された直後、自動的に画像を解析し、文字情報を読み上げます。

### 10.5.1 OCRメニューからデータを選んで読み上げる

OCRメニューの「認識結果」から、認識結果のファイルを読み上げることができます。以下、手順です。

1. OCRボタンを押して、OCRを実行してください。すると、「写真の撮影」と読み上げます。
2. 下矢印キーを押して、「認識結果」へ移動し、OKボタンを押してください。
3. OCRで認識したファイルが撮影日時順にリスト表示されます。
4. 上下矢印キーを押して読みたいファイルを選び、OKボタンを押してください。OCRで解析した文章を読み上げます。

### 10.5.2 エクスプローラーからデータを選んで読み上げる

ファイルの読み上げ中にメニューボタンを長押しするとエクスプローラーを使って、認識結果のファイルを読み上げることができます。

認識結果のファイルは撮影日時順にリストで表示されます。上下矢印キーで内容を読み上げたいファイルを選び、OKボタンを押してファイルを再生してください。

読み上げ中、OKボタンを押すと、読み上げを一時停止します。この状態でOKボタンを押すと、再び読み上げが始まります。

読み上げ中にOCRボタンを押すと、新しい写真を撮影します。OCRメニューに戻るには、キャンセルボタンを押してください。キャンセルボタンを長押しすると、現在再生中のファイルを削除します。削除を実行すると「本当に削除しますか」と尋ねられます。削除する場合はOKボタンを、削除を辞める場合はキャンセルボタンを押してください。

## 10.6 画像ファイルのOCR認識

ブレイズETで撮影された画像ファイルだけではなく、外部からの画像を取り込み、テキストをOCR認識することができます。

### 10.6.1 撮影した画像ファイルを解析する

以下、ブレイズETで撮影した画像ファイルをOCRで解析する手順です。

1. ホームメニューでOCRボタンを押してOCRを実行してください。
2. OCRのメニューが表示されます。上下矢印キーで「撮影した画像ファイルを解析する」を選択し、OKボタンを押してください。
3. ブレイズで撮影したJPGファイルのリストが、撮影日時順にリスト表示されます。
4. 上下矢印キーで再認識したいファイルを選択し、OKボタンを押してください。０を押して一度に複数のファイルを認識することも可能です。
5. ファイルの解析中はビープ音が鳴ります。
6. 認識が完了すると、自動的に内容が読み上げられます。

### 10.6.2 外部の画像ファイルを解析する

ブレイズET以外の機器で撮影された画像ファイルを開き、画像に映っている文字を解析してテキストとして認識することができます。解析できる画像データの形式はjpg形式のみです。

解析したいjpgデータを本体フラッシュディスクの「OCR」フォルダの「import」フォルダに保存してください。

また、jpgデータは横向きの状態で解析されます。画像が縦向きの場合正しく読めない場合があります。

以下、外部の画像ファイルを解析する手順です。

1. ホームメニューでOCRボタンを押してOCRを実行してください。
2. OCRメニューが表示されます。上下矢印キーで「外部の画像ファイルを解析する」を選択しOKボタンを押してください。
3. importフォルダに保存されている画像リストをリスト表示します。
4. 上下矢印キーを使って、解析したいファイルへ移動し、OKボタンを押してください。点キーの0を使用して、一度に複数のファイルを認識することも可能です。
5. ファイルの解析中はビープ音が鳴ります。
6. 解析完了後、認識されたテキスト情報が読み上げられます。

## 10.7 OCRの設定

### 10.7.1 フラッシュのオン/オフ

OCR撮影を行う際、周囲が暗い場合OCRの解析精度が低くなる場合があります。その場合、フラッシュをオンにして撮影をお試しください。

以下、フラッシュ設定の変更手順です。

1. ホームメニューでOCRボタンを押してOCRを実行してください。
2. OCRメニューが表示されます。上下矢印キーで「フラッシュオン/オフ」を選択してください。
3. 左矢印キーあるいは右矢印キーで設定を選択してください。

### 10.7.2 画像ファイルの処理

撮影した画像ファイルを保存するか削除するかを設定します。

「保存しない」設定にした場合、OCRプログラムを終了すると画像を削除します。

1. ホームメニューでOCRボタンを押してOCRを実行してください。
2. OCRメニューが表示されます。上下矢印キーを押して「オプション」を選択して、OKボタンを押してください。
3. OCRのオプションメニューが表示されます。上下矢印キーを押して「画像ファイルの処理」を選択してください。
4. 左右矢印キーを押して「保存」か「保存しない」いずれかを選択してください。
5. OKボタンを押して、設定を保存してください。
6. 設定せずにキャンセルする場合は、キャンセルボタンを押してください。OCRメニューに戻ります。

### 10.7.3 テキストファイルの処理

解析したテキストファイルを読み上げ後に保存するか削除するかを設定します。「保存しない」設定にした場合、OCRプログラムを終了するとテキストを削除します。

※外部の画像ファイルを解析したテキストデータは削除されません。

1. ホームメニューでOCRボタンを押してOCRを実行してください。
2. OCRメニューが表示されます。上下矢印キーを押して「オプション」を選択して、OKボタンを押してください。
3. OCRのオプションメニューが表示されます。上下矢印キーを押して「テキストファイルの処理」を選択してください。
4. 左右矢印キーを押して「保存」か「保存しない」いずれかを選択してください。
5. OKボタンを押して、設定を保存してください。
6. 設定せずにキャンセルする場合は、キャンセルボタンを押してください。OCRメニューに戻ります。

### 10.7.3 画像ファイルを全て削除

「画像ファイルを全て削除」のオプションから、全ての画像ファイルを一括して削除をすることができます。実行する際は、保存しておきたいファイルが残っていないか、注意してください。

※保存されている外部の画像ファイルは削除されません

1. ホームメニューでOCRボタンを押してOCRを実行してください。
2. OCRメニューが表示されます。上下矢印キーを押して「オプション」を選択して、OKボタンを押してください。
3. OCRのオプションメニューが表示されます。上下矢印キーを押して「画像ファイルをすべて削除」を選択してください。
4. OKボタンを押して、削除を実行してください。
5. 「本当にすべてのファイルを削除しますか？」と読み上げますので削除する場合はOKボタンを押してください。削除を取りやめる場合はキャンせるボタンを押してください。

### 10.7.4 テキストファイルを全て削除

「テキストファイルを全て削除」のオプションから、全てのテキストファイルを一括して削除をすることができます。実行する際は、保存しておきたいファイルが残っていないか、注意してください。

※外部の画像ファイルを解析した結果のテキストファイルは削除されません。

1. ホームメニューでOCRボタンを押してOCRを実行してください。
2. OCRメニューが表示されます。上下矢印キーを押して「オプション」を選択して、OKボタンを押してください。
3. OCRのオプションメニューが表示されます。上下矢印キーを押して「テキストファイルをすべて削除」を選択してください。
4. OKボタンを押して、削除を実行してください。
5. 「本当にすべてのファイルを削除しますか？」と読み上げますので削除する場合はOKボタンを押してください。削除を取りやめる場合はキャンせるボタンを押してください。

# 11 Webラジオで世界中のラジオを楽しむ

Webラジオでは世界中で放送されているWebラジオを検索して聴取することができます。使用するには無線LANを使ったネットワーク接続を行う必要があります。

※ネットワークに接続されていない状態で実行すると「インターネットに接続されていません。Wi-Fiに接続しますか？」と読み上げます。無線LANに接続することが可能な環境であれば、左右矢印キーで「はい」を選択してOKを押すと無線LANの設定ダイアログが開きます。無線LAN設定について詳しくはオプション設定で説明します。

## 11.1 チャンネル一覧

Webラジオを実行するとチャンネル一覧が表示されます。最初はリストが無い状態です。

聴取したいラジオ局を検索して、リストにチャンネルを登録します。

登録後、聴取したいラジオ局を選択することでラジオを聴くことができます。

### 11.1.1 Webラジオのメニュー

チャンネル一覧の状態でメニューキーを押すと、Webラジオのメニューを開きます。Webラジオのメニューは「データベースを検索」と「検索データベース更新」、「NHKモードを更新」で構成されています。

「データベースの検索」で検索したラジオ局をチャンネル一覧に登録して使うのですが、定期的に「検索データベース更新」を行うことをお勧めします。

「データベース更新」を行う事でこれまで聞けなかった放送局が追加される場合があります。

また、「NHKモードを更新」を行うことで、日本各地のNHKラジオ放送局を登録する事ができます。

### 11.1.2　データベース検索

「データベース検索」を使って聴取したいラジオ局をチャンネル一覧に登録します。

メニューの「データベース検索」でOKボタンを押してください。

検索には「カテゴリーモード」と「単語入力モード」があります。左右矢印キーで選択できます。それぞれのモードで下矢印キーを押すと検索作業を進めます。検索したいラジオ局の名前やキーワードがわかっていれば「単語入力モード」で検索することができます。

「カテゴリーモード」では「国」、「言語」、「ジャンル」の3つの項目を設定して検索します。

カテゴリーモードの検索では、上下矢印キーでカテゴリ項目の切り替え、左右矢印キーで項目の選択を行います。選んだ国によって言語もジャンルも変わりますので、すべてのカテゴリで設定項目を選んでください。ジャンルを全て選択して下矢印キーを押すと検索を開始します。検索結果リストからチャンネル一覧に登録したいチャンネルを選びOKボタンを押すとチャンネルに登録されます。

日本の日本語のWebラジオを検索する場合以下の手順でお試しください。

1. Webラジオを実行して、メニューボタンを押す。
2. 「データベース検索」と読み上げたらOKボタンを押してください。
3. 「カテゴリーモード」と読み上げるので下矢印キーを押してください。
4. 国リストが表示されるので、左右矢印キーを押し「ジャパン」と読み上げたら下矢印キーを押してください。
5. 次に言語リストが表示されるので左右矢印キーを押して「日本語」と読み上げたら下矢印キーを押してください。
6. 次にジャンルリストが表示されるので左右矢印キーを使ってお好みのジャンルを選んで下矢印キーを押してください。
7. 検索結果リストが表示されます。ラジオ局の名前と説明が表示されます。聞きたいラジオ局があったらOKボタンを押してください。チャンネルリストに登録され、チャンネル一覧に移動します。

＜参考＞

検索結果リストで複数のチャンネルを登録したい場合、０を押すとチャンネルを選択した状態になります。複数のチャンネルを選択した状態でOKを押すと選択したすべての局を登録することができます。

また、検索結果リストが表示された状態で上矢印キーを押すとカテゴリの選択を変更することも可能です。

Webラジオが再生されない場合は、以下を確認してください。

1. ブレイズがインターネットに接続しているか確認してください。
2. ブレイズのWebradioフォルダに正しいWebラジオチャンネルのプレイリストアドレイスが保存されているか確認してください。ブレイズはm3uおよびPLSラジオプレイリストをサポートしています。
3. URLが有効ではなくなったり、サーバーに一時的な問題が発生したりしている可能性があります。Webラジオ局は頻繁にURLを変更する場合があるため、Webラジオのチャンネルに接続するために使用してるアドレスを確認し変更する必要があります。

### 11.1.3 NHKモードを更新

日本各地のNHK放送局を登録します。

「NHKモードを更新」と読み上げたところでOKボタンを押してください。

「地域　札幌」と読み上げます。左右矢印で地域を切り替える事が出来ます。

放送局を登録した地域を読み上げたところで下矢印を押すと「チャンネル　R1」と読み上げます。左右矢印でチャンネルを切り替える事が出来ます。OKボタンを押すと放送局をチャンネル一覧に追加します。

## 11.2 登録したチャンネルの削除

チャンネルを削除したい場合はチャンネル一覧でチャンネル名を読み上げた状態でキャンセルボタンを長押ししてください。削除確認のメッセージを読み上げますので、OKボタンを押すと削除します。

複数のチャンネルを削除したい場合、０を押すとチャンネルを選択した状態になります。複数のチャンネルを選択した状態でOKを押すと選択したすべての局を削除することができます。

# 12 Podcastを聴く

Podcastは個人または団体がRSS（Really Simple Syndication）と呼ばれる方法で公開したオーディオファイルです。ユーザがRSSリーダーやPodキャッチャーと呼ばれるアプリケーションを使って購読します。ブレイズのPodcastアプリはユーザが利用可能なPodcastコンテンツを確認し、聴取したい場合にダウンロードする事ができるPodキャッチャーです。

メインメニューで上下矢印キーを押して「Podcast」と読み上げたところでOKボタンを押すか、メインメニューでクイック起動コマンドである「６」を押してください。

ブレイズがネットワークに接続されていない場合、Podcastは使用できません。無線LANの接続設定に移動しますので、設定を行ってださい。ネットワーク接続ができない場合はキャンセルボタンを押して無線LAN設定とPodcastを終了してください。

## 12.1フィード一覧

ネットワークに接続した状態でPodcastを起動すると最初にフィード一覧を表示します。

最初は何も登録されていませんが、番組を検索して登録することでデータのダウンロードと再生を行う事ができます。

### 12.1.1フィードからPodcastを再生する

これまでにフィードに追加した番組があればリスト表示されます。

番組名を上下矢印キーで選んでOKボタンまたは右矢印キーを押すと、番組の各回を選択するリストが表示されます。

再生したい回を上下矢印キーで選択しOKボタンまたは右矢印キーを押すとデータのダウンロード行います。ダウンロード完了後、自動的に再生を開始します。一度再生したことのある回は、タイトルの後に「再生済み」と表示します。

### 12.1.2 フィードに登録したPodcastを削除する

番組を削除したい場合はフィード一覧で番組名を読み上げた状態でキャンセルボタンを長押ししてください。削除確認のメッセージを読み上げますので、OKボタンを押すと削除します。

複数の番組を削除したい場合、０を押すと番組を選択した状態になります。複数の番組を選択した状態でOKを押すと選択したすべての番組を削除することができます。

## 12.2ポットキャストのメニュー

番組の検索はフィード一覧表示中にメニューボタンを押してください。ポットキャストメニューが開きます。

Podcastメニューでは「フィードを更新」と「Podcast検索」の2つの項目があります。

### 12.2.1 フィードを更新

「フィードを更新」と読み上げたところでOKを押すと実行します。新たにポットキャストを登録したり、削除したりした後、フィード一覧の情報を最新の状態に更新します。

### 12.2.2 ポットキャストを検索

検索には「カテゴリーモード」と「単語入力モード」があります。左右矢印キーで切り替える事ができます。それぞれのモードで下矢印キーを押すと検索を行います。

1)カテゴリーモード

カテゴリーモードで下矢印キーを押すと、カテゴリ選択状態になります。

左右矢印キーを押すことでカテゴリを切り替える事ができます。選択できるカテゴリは「芸術」、「仕事」、「コメディ」、「教育」、「ゲーム・趣味」、「政府・組織」、「健康」、「子供・家族」、「音楽」、「ニュース・政治」、「宗教・精神」、「科学・医療」、「社会・文化」、「スポーツ・娯楽」、「テレビ・映画」、「テクノロジー」の16項目です。

検索したいカテゴリを表示した状態でOKボタンまたは下矢印ボタンを押すと選択できる番組リストが表示されます。

番組は左右矢印キーで選択します。再生したい番組名を読み上げたところでOKボタンを押すと、番組をフィードに登録します。

＜参考＞

番組リストから複数の番組をフィードに登録したい場合、番組名で０を押すと番組を選択した状態になります。複数の番組を選択した状態でOKを押すと選択したすべての番組を登録することができます。

また、検索結果リストが表示された状態で上矢印キーを押すとカテゴリの選択に戻ります。

2)単語入力モード

単語入力モードで下矢印キーを押すと、キーワード入力エディットボックスが開きます。エディットボックスにキーワードを入力してOKボタンまたは下矢印キーを押すと検索を開始します。

※ブレイズ ETは漢字入力に対応していません。日本語の検索はひらがなのみとなります。

## 12.3 その他のPodcast購読方法

Podcastのフィードアドレス情報はブレイズの内蔵Flashdiskにある「Podcast」フォルダに保存する必要があります。検索を使用した場合は自動的にPodcastフォルダに保存されますが、Podcast XMLアドレスを直接貼り付ける事や、別のポッドキャッシングアプリケーションで作成したOPMLを保存する事も可能です。

　Podcastのフィードアドレスを直接貼り付ける場合、各URLを「podcast.url」という名前のファイル内の特定の行に配置する必要があります。コンピュータのメモ帳などのテキストエディタを使ってフィードアドレスを貼り付けてください。

　「podcast.url」ファイルやOPMLファイルをインポートする場合はFlashdiskの「podcast」フォルダにコピーしてください。ブレイズを再起動してPodcastを実行すると自動的にインポートされます。

## 12.4 再生中の操作

### 12.4.1 基本操作

停止：キャンセルボタン

早送り：右矢印キーを長押し

巻戻し：左矢印キーを長押し

次へ移動：右矢印キー

前へ移動：左矢印キー

上下矢印キー：移動単位の変更

メニューを開く：メニューボタンを押す

### 12.4.2 再生中のメニュー

コンテンツ再生中にメニューボタンを押すと再生中に使用できるメニューが表示されます。

1. イコライザー設定：

左右矢印キーを使い、イコライザーを選択します。

設定後OKボタンを押して、設定を保存します。キャンセルボタンを押すと設定を変更せずにイコライザー設定ダイアログを終了します。

設定可能なイコライザーは自動、ノーマル、クラシック、ダンス、ジャズ、ポップ、ロックです。

1. 時間移動：移動先の時間を手動で入力して移動します。
2. メディア設定：繰り返し回数をハイライト、終了時にマークを保存、
3. パーセンテージで移動：移動先をパーセンテージで指定して移動します。

# 13 DAISYオンラインで本を探す

## 13.1 ログイン

DAISYオンラインを起動するとサピエIDとパスワードの入力を求められます。以下の手順でサピエのIDとパスワードを入力してログインしてください。

インターネットに接続できる状態でないとログインできません。

＜参考＞ID・パスワードを保存する設定にした場合、次回以降入力不要です。

1. IDの入力後、下スクロールを押すとパスワードの入力エディットボックスに切り替わります。続いてパスワードを入力してください。
2. 次に下矢印キーを押すと「IDを保存」と読み上げます。入力したIDを保存しておきたい場合は左右矢印キーで「はい」を選択してください。
3. 次に下矢印キーを押すと「パスワードの保存」と読み上げます。入力したパスワードを保存しておきたい場合は左右矢印キーで「はい」を選択してください。
4. 次に下矢印キーを押すと「情報の表示」と読み上げます。左右矢印キーで「はい」か「いいえ」を選択してください。「はい」に設定すると事務局/施設会員からのお知らせがログイン時に表示されます。
5. 次に下矢印キーを押すと「コンテンツソース」と読み上げます。左右矢印キーを押すことで、10・15・20・25・30・35・40・45・50を切り替える事ができます。一度に表示する件数の設定です。
6. 次に下矢印キーを押すと「ログインボタン」と読み上げます。ログイン設定に変更がなければOKボタンを押してください。

＜参考＞情報の表示を「はい」に設定すると、ログイン後にお知らせリストが表示されます。OKボタンまたはキャンセルボタンを押すと、お知らせリストを終了してサピエオンラインのメニューを表示します。

## 13.2 DAISYオンラインの検索メニュー

メニューでは左右矢印キーで項目を移動し、下矢印キーで項目を実行し、上矢印キーで項目を一つ戻ります。テンキーの４を押すとメニューの先頭へ移動します。

メニュー項目は以下の通りです。

1. 前回の検索結果一覧
2. 図書検索
3. 雑誌検索
4. 雑誌の定期配信
5. タイトル削除依頼

### 13.2.1前回の検索結果一覧

前回の検索結果リストを表示します。ただし、DAISYオンラインを一度終了してしまうと前回の検索結果は消去されてしまいます。

### 13.2.2図書検索

閲覧したい図書を検索することができます。

1. 新着完成情報

・過去１週間

・過去１ヶ月

1. 人気のある本
2. ジャンル検索
3. 文字入力検索

・簡易検索

・絞り込み検索

を行う事ができます。

【注意】検索に完成登録日を使用する場合、数字は英語入力を使って半角で入力してください。

### 13.2.3雑誌検索

閲覧したい雑誌を検索することができます。

1. 新着完成順で表示
2. タイトル順で表示

・月刊誌

・週刊誌

・その他、隔月刊、季刊誌、不定期刊誌

1. タイトル検索

### 13.2.4雑誌の定期配信

1. 登録
2. 解除

雑誌の定期配信を登録または削除することができます。

### 13.2.5タイトル削除依頼

ネット閲覧室に登録されたタイトルを施設の職員が削除することを「可能」か「不可能」に設定します。

## 13.3図書検索結果リストの操作

各検索方法で検索を行うと図書の検索リストが表示されます。検索した図書名でOKボタンを押すとダウンロードと詳細情報を確認することができます。

### 13.2.7検索結果リストでの操作

図書検索結果のリストです。以下のボタンを使って操作します。

1. 左右矢印キー：順番にリストを確認できます。タイトル、著者名などの情報を読み上げます。
2. OKボタン：図書名で押すと図書名ごとの操作に移動します。リストの最後に表示される「次のリスト」でOKを押すとリストに表示しきれなかった分のリストへ移動します。
3. ２：図書をネット閲覧室の「閲覧リスト」へ登録します。ネット閲覧室について詳しくは13.4章をご参照ください。閲覧リストに登録することで、データ全体をダウンロードする前に、ダウンロードしたい図書の候補を閲覧リストに保存することができます。

### 13.2.8図書名ごとの操作

1. ダウンロード

検索した図書を閲覧するためにデータをダウンロードします。ダウンロードしたデータは本体フラッシュディスクの「オンラインデイジー」フォルダに保存されます。ダウンロード完了直後には「ダウンロードしたファイルを再生しますか」と確認があり、そのまま図書を再生することが可能です。

改めて続きを読む場合は、ブックリーダー機能を使って再生してください。

1. 図書の情報

検索した図書の詳細情報を表示します。確認できる情報は「タイトル」、「作成者」、「著者」、「日付」、「説明」、「容量」です。上下スクロールキーで項目を切り替える事ができます。キャンセルボタンを押すと検索結果リストの操作メニューに戻ります。

## 13.3検索した図書の再生

検索した図書名を表示した状態でOKボタンを押すと「ダウンロード」ボタンを表示します。ダウンロードボタンでOKを押すとデイジー図書のダウンロードを開始します。ダウンロードが完了すると「ダウンロードしたファイルを再生しますか？」と尋ねられます。左右矢印ボタンを押すと「はい」と「いいえ」が切り替わります。すぐに図書を再生したい場合は「はい」を選択してOKボタンを押してください。「いいえ」を選んでOKボタンを押すと検索結果リストに戻ります。

## 13.4 ネット閲覧室

ネット閲覧室は「新着リスト」と「閲覧リスト」で構成されています。  
検索した図書で、後で改めてダウンロードしたいものを閲覧リストに登録すると便利です。  
定期配信の設定を行った雑誌は新着リストに登録されます。  
またサピエでは、自分で検索できないユーザは、図書館に電話で検索を依頼し、自分のネット閲覧室の新着リストに読みたい本や定期配信を希望する雑誌を登録してもらうことができます。

### ネット閲覧室を開く

サピエオンラインのメインメニューで１を押すと、ネット閲覧室を開きます。

再度１を押すとサピエオンラインの検索メニューに戻ります。

### 新着リスト

定期配信の設定を行った雑誌と、図書館に検索を依頼した図書が新着リストに追加されます。

リストでの操作は「図書検索結果リストの操作」と同様です。

ダウンロードを実行すると新着リストから自動的に削除されます。

ダウンロードしたデータは本体フラッシュディスクの「オンラインデイジー」フォルダに保存されます。ブックリーダー機能を使って再生してください。

### 閲覧リスト

検索した図書リストから登録した図書が表示されます。

ストでの操作は「図書検索結果リストの操作」と同様です。

閲覧リストで図書名を表示している状態で３を押すと登録した図書名を削除します。

# 14 ユーティリティ

メインメニューからユーティリティを実行すると以下の機能を使用することができます。各項目は上下矢印ボタンで選択し、OKボタンを押して実行します。

1. 録音
2. カラーリーダー
3. メモ
4. 電卓
5. アラーム
6. スリープタイマー設定
7. 設定の初期化
8. フォーマット
9. アップグレード

## 14.1　録音

ブレイズは録音ボタンを使って簡単に音声録音を行う事ができます。

## 録音操作

録音開始：録音ボタン長押し

録音一時停止：録音中に録音ボタンを短く押す

録音再開：録音一時停止中に録音ボタンを短く押す

録音終了：録音中にOKボタンを押す

録音キャンセル：録音中に録音ボタンを長押し

## 録音データの再生

録音データがある状態で録音ボタンを短く押すと、最後に録音したデータを再生します。再生中に左右矢印キーを押すと以前に保存したデータを選択することができます。

メディアプレーヤーから再生したい場合はエクスプローラーを使って本体のrecordフォルダからデータを選択してください。

## 14.1.1 DAISY形式で録音

ブレイズ ETはDAISY形式の録音に対応しています。

DAISY形式で録音を行うためには「オプション」メニューの「録音設定」からDAISY録音に設定してください。

手順は以下の通りです。

1. メインメニューから「オプション」を選んでOKボタンを押してください。
2. 「一般設定」と読み上げるので上下矢印キーを使って「録音設定」を探してください。「録音設定」と読み上げたらOKボタンを押してください。
3. 「録音方法設定」、「通常の録音」と読み上げたら左右矢印キーを押して「DAISY録音」に切り替えてください。
4. 次にOKボタンを押すと設定を保存して終了します。OKボタンを押さずに下矢印キーを押すと「録音音質」、「録音ソース」、「マイクの感度」、「録音の警告設定」、「録音をディスクに保存」の設定項目を読み上げます。各項目で左右矢印キーを押すと設定内容を変更できます。

DAISY録音を開始すると、最初の20秒はタイトルを録音する時間です。

それ以降、テンキーの操作で見出し、フレーズ、ページを付けることができます。

操作は以下の通りです。

録音中に下記のボタンを押すことでナビゲーションのポイントを挿入します。

4：見出しを挿入

2：フレーズを挿入

6：ページを挿入

録音を終了する際はOKボタンを押してください。

録音を取り消す場合はキャンセルボタンを押してください。

DAISY形式で録音したデータは録音ボタンからは再生できません。

ブックリーダーを使って再生してください。

初期設定ではデータを本体フラッシュディスクの「DAISY」フォルダ内の「record」フォルダに保存します。

キャンセルボタンを押すと終了してユーティリティメニューに戻ります。

## 14.2 カラーリーダー

カメラで撮影した対象物の色を読み上げます。

カラーリーダーを起動した状態でOKボタンを押すと対象物を撮影して色彩を読み上げます。一度読み上げた後にOKを押すと結果を読み上げます。別の対象物の色を確認したい場合は一度キャンセルボタンを押して再度カラーリーダーを起動してからOKボタンを押してください。

キャンセルボタンを押すと終了してユーティリティメニューに戻ります。

## 14.3メモ

数字キーを使ってメモを入力します。タイトルと本文を入力できます。作成したメモはリストから確認可能です。

### 14.3.1メモ追加

新しいメモを作成します。メモ追加と読み上げたところでOKボタンを押すとメモを追加します。メモのタイトルと本文を入力してください。上下矢印キーを押すと、タイトルと本文の入力画面が切り替わります。タイトルと本文の入力後OKボタンを押すとメモを保存します。

※漢字変換には対応しておりません。

### 14.3.2メモ一覧

メモ追加で作成したメモがリストになって表示されます。内容を確認したいタイトルを選んでOKボタンを押すと、選択したタイトルのメモ本文を読み上げます。

キャンセルボタンを押すと終了してユーティリティメニューに戻ります。

## 14.4 電卓

数字キーを使って数字を入力し計算を行います。

使用できる記号は以下の通りです。

＋：6長押し

―：4長押し

×：2長押し

÷：8長押し

％：7長押し

ピリオド：9長押し

累乗：0長押し

式を入力しOKボタンを押すと計算結果を読み上げます。

キャンセルボタンを押すと終了してユーティリティメニューに戻ります。

## 14.5 アラーム

アラームを鳴らしたい時刻を設定してください。数字は数字パッドを使って入力します。設定項目は以下の通りです。

時、分、午前/午後、回数設定、アラーム音選択、アラーム音量、アラームの間隔、繰り返し回数

※アラーム音は3種類のアラーム音から選択してください。

アラームの設定後は、アラーム設定を起動して下矢印を押すとアラームの削除という項目が表示されます。アラーム削除でOKボタンを押すと設定したアラームを削除できます。

キャンセルボタンを押すと終了してユーティリティメニューに戻ります。

## 14.6 スリープタイマー

スリープタイマーを設定できます。

設定できる項目は以下の通りです。

オフ、3分、5分、10分、15分、20分、30分、45分、60分、90分、120分、180分

キャンセルボタンを押すと終了してユーティリティメニューに戻ります。

## 14.7 設定の初期化

「設定の初期化」では、ブレイズ ET設定を工場出荷時の設定に戻すことができます。以下手順です。

1. ホームメニューで、上矢印または下矢印を押して「ユーティリティ」に移動し、「OK」を押してください。
2. 上矢印または下矢印を使用して「設定の初期化」に移動し、「OK」を押してください。
3. 「ブレイズETの設定を初期化しますか」と読み上げます。左右矢印を押して「はい」と「いいえ」を切り替える事ができます。
4. 「はい」で「OK」を押すと設定を初期化します。「初期化を開始すると、デバイスは再起動します。」と読み上げます。
5. ブレイズが再起動し、ホームメニュー戻ると設定は工場出荷時の状態に戻ります。

または、リセットを押しながら「キャンセル」ボタンを押すことで、設定の初期化を実行することもできます。

ビープ音が鳴ったら、「リセット」ボタンを放し、5秒間キャンセルを押し続けてください。ブレイズは再起動し、工場出荷時の設定に戻ります。

ブレイズが操作不能の状態で設定の初期を試したい場合はこの方法で初期化してください。

## 14.8 フォーマット

ブレイズ ETの内部フラッシュディスク、またはSDカードやUSBメモリなどの接続中のドライブをフォーマットすることができます。

以下手順です。

1. ホームメニューから、上矢印と下矢印を使用してユーティリティに移動し、「OK」を押してください。
2. ユーティリティのメニューから、上矢印または下矢印を使用して「フォーマット」に移動し、「OK」を押します。
3. 使用可能なドライブ間を移動するには、左矢印と右矢印を使用します。フォーマットしたいドライブを選択して 「OK」ボタンを押してください。ディスクをフォーマットすることを確認する案内が読み上げられます。
4. もう一度「OK」ボタンを押してください。
5. 「全てのデータが失われます。継続しますか？」と、フォーマットの続行を確認するメッセージが再度表示されます。もう一度 「OK」を押すと、フォーマットを開始します。

フォーマットをせずにメニューに戻る場合は「キャンセル」を押してください。

## 14.9 アップグレード

ブレイズ ETのファームウェアをアップグレードする方法について説明します。

1. 以下手順です  
   有限会社エクストラのWebサイトから最新のファームウェアをダウンロードしてください。
2. ファイルを展開し、生成された拡張子binのファイルをSDカードのルートにコピーします。
3. ブレイズ ETにSDカードを挿入してください。
4. ACアダプタを接続してください。
   * ACアダプタを接続しないとアップグレードは実行されません。必ず接続してください。
5. ホームメニューから、上矢印または下矢印を使用して「ユーティリティ」に移動し、「OK」を押してください。
6. 上矢印または下矢印を使用して「アップグレード」に移動し、「OK」を押してください。
7. アップグレードの方法を選択するよう求められます。左または右の矢印を使用してオフラインに移動し、「OK」を押します。
8. ブレイズが「システムの更新を開始」し、更新プログラムのインストールが開始されます。そのまま操作せずにおいてください。
9. インストールが完了すると、ブレイズはアップグレードが成功したことを通知し、再起動します。

## 14.10 オーディオCDの再生

外付けCDドライブをブレイズETに接続し、市販のオーディオCDを挿入すると、CDの音楽データを再生する事ができます。市販のオーディオCDを挿入した状態でユーティリティメニューを開くと「録音」の次に「オーディオSDの再生」が表示されます。右矢印かOKボタンを押すと実行します。

オーディオCD再生中の操作

左矢印ボタン：前のトラックへ移動

右矢印ボタン：次のトラックへ移動

OKボタン：再生/停止

音声コントロールボタンで設定できるのはメディア音量のみです。

# 15 オプション

オプションでは、ブレイズ ETの一般設定、時間、日付、無線LAN接続、Bluetooth設定を設定できます。オプションを使用するには、上矢印または下矢印を使用してホームメニューの「オプション」に移動し、「OK」を押してください。オプションメニューは以下の項目で構成されています。

1）一般設定  
2）ガイド音声設定  
3）通知音設定  
4）録音設定  
5）日付・時刻を設定  
6）Bluetooth設定  
7）無線LAN設定  
8）バッテリーの状態  
9）システムの状態を確認  
「録音設定」については本書の9.2章で説明しています。

以下、録音設定以外の各設定の説明です。

## 15.1 一般設定

一般設定ダイアログには、ブレイズ ETの操作と出力をカスタマイズするための設定があります。

ホームメニューからオプションメニューを実行してください。オプションメニューの最初の項目、「一般設定」で「OK」を押してください。

一般設定ダイアログで、上下矢印を使用して設定項目を選択します。各設定項目の値を変更するには、左右矢印を使用します。

一般設定ダイアログには、以下の項目があります。

1. 表示する情報：ブレイズ ETを操作する際に通知される情報を指定します。選択可能なオプションは、「全て」、「コントロール」、「種類」、「オフ」です。

コントロールは、［編集ボックス］、[リスト項目]などのコントロールのタイプを通知します。

「種類」は、[DAISY]、[メディアファイル]などのファイルまたはフォルダの種類を示します。

「全て」はこれらの情報をすべて表示します。

「オフ」はこれら情報を表示しません。

1. 数字キーロック：数字キーにロックを掛けるかどうかを設定します。左右矢印を使用して、オンとオフを選択します。オンにするとロックがオンになるので数字キーが使用できなくなります。初期設定はオフです。
2. マークの警告：ブレイズが書籍、文書、メディアデータを再生する際にマークを通知するかどうかを設定します。左右矢印でオンまたはオフに設定できます。
3. ページ移動におけるリスト項目数：プレイリストやファイル管理のファイルリスト等で「３」と「９」のボタンを押すことで移動できるリスト項目数を決定します。左右矢印で「5」、「10」、「15」、「20」、「25」から選択します。初期設定は25です。
4. 節電モード：ブレイズを操作しない状態で節電モードが機能するまでの時間を設定します。節電モードが実行されると自動的にブレイズの電源がオフになります。

左右矢印で「5分」、「10分」、「15分」、「30分」、「オフ」から選択できます。 「オフ」を選択すると、長時間使用しなくても節電モードは機能しません。※バッテリー残量がわずかになると、節電モードに関わらず1分使用すると自動的に電源がオフになります。

1. 日時出力：時刻を読み上げる際の情報を設定します。左右矢印で「日付」、「時間」、「日付と時刻」を選択できます。初期設定は「日付と時刻」です。

オプションの設定が終了したら、「OK」キーを押して設定を保存してください。変更を行わずに「一般設定」ダイアログを終了するには、「キャンセル」を押してください。

## 15.2 ガイド音声設定

ガイド音声の音量、速度、高さを調整し、システムメッセージなどを通知する方法について説明します。

オプションメニューを開き、上下矢印で「ガイド音声設定」を選択し、「OK」を押し、実行してください。

上下矢印を使用して、ダイアログ内の設定を移動します。設定の値を変更するには、左矢印と右矢印を使用します。設定を保存する場合は「OK」を押してください。設定を保存せずに終了する場合は「キャンセル」ボタンを押してください。ガイド音声設定ダイアログは以下の5つの項目で構成されています。

1. ガイド音声速度：音声ガイドの速度を調整します。左右矢印を使用して、1〜15の値から設定できます。
2. ガイド音声高さ：ガイド音声の音の高低を調整します。左右矢印を使用して、1〜15の値から設定できます。
3. ガイド音声音量：ガイド音声の音量を調節します。左右矢印を使用して、1〜15の値から設定できます。
4. 音声：男性または女性の声を選択できます。左右矢印を使用して設定してください。
5. 大文字の通知：読み上げ時に大文字表記を通知するかどうかを選択します。左右矢印を使用して、オンまたはオフを設定します。

## 15.3 通知音設定

「通知音設定」ダイアログでは、進行状況の通知や正時の通知、バッテリーの状態、プッシュ音など、ブレイズ ETの様々な通知音について設定できます。「オプション」メニューを開き、上下矢印で「通知音設定」を選択し、「OK」を押してダイアログを開きます。

上下の矢印を使用して、各設定項目を移動します。左右の矢印を使用して、設定の値を変更します。

設定の調整が終わったら、「OK」キーを押して変更を保存します。変更せずにダイアログを終了するには、「キャンセル」キーを押します。

「通知音設定」ダイアログには次の項目があります。

1）オーディオの警告設定：オンとオフを選択します。  
2）電源オン/オフ時のサウンド設定：ビープ、メッセージ、オフから選択します。  
3）ボタンのサウンド設定：「基本サウンド1」、「基本サウンド2」、「基本サウンド3」、「オフ」のいずれかを選択します。  
4）バッテリーのサウンド設定：ビープとメッセージのどちらかを選択します。  
5）正時の通知：毎時0分に通知します。ビープ、メッセージ、オフの中から選択します。

## 15.4 録音設定

録音設定ダイアログでは録音に関する設定を行います。

上下の矢印を使用して、各設定項目を移動します。左右の矢印を使用して、設定の値を変更します。

設定の調整が終わったら、「OK」キーを押して変更を保存します。変更せずにダイアログを終了するには、「キャンセル」キーを押します。

「通知音設定」ダイアログには次の項目があります。

1. 録音方法設定：通常の録音（mp3）とDAISY録音を選択できます。
2. 録音音質：標準音質、会話音質、ユーザ定義、高音質(wav)、高音質(mp3)から選択できます。
3. 録音ソース：音源をマイク（内蔵）、ヘッドセットマイク（外付）、ラインから選択できます。
4. マイクの感度：感度を１（低）から５（高）までの感度に設定できます。
5. 録音の警告設定：ビープ、メッセージ、オフから選択できます。
6. 録音をディスクに保存：録音データの保存先を選択します。

## 15.5 日付時刻を設定

日付と時刻は、2つの方法で設定できます。日付と時刻の設定ダイアログを使用した手動設定と、タイムサーバと同期させる自動設定です。インターネットにブレイズを接続した場合、日付と時刻を設定せずとも自動的に現在時刻に同期します。

### 15.5.1手動で日付と時刻を設定する。

日付と時刻を手動で設定します。以下手順です。

1. ホームメニューから「オプション」メニューを開き、上下矢印を使って「日付と時刻」に移動してください。
2. 「OK」ボタンを押して「日付と時刻」ダイアログを開いてください。
3. 「月」と読み上げます。現在の月を数字キーで入力してください。下矢印を押すと次の項目に進みます。
4. 「日」と読み上げます。現在の日付を数字キーで入力してください。下矢印を押すと次の項目に進みます。
5. 「年」と読み上げます。現在の西暦を数字キーで入力してください。下矢印を押すと次の項目に進みます。
6. 「時刻の形式」と読み上げます。時刻を「12時間制」か「24時間制」か、を左右矢印で選んでください。下矢印を押すと次の項目に進みます。
7. 「12時間制」を選んだ場合、「午前/午後」と読み上げます。左右矢印を使って「午前」か「午後」か、を選択してください。下矢印を押すと次の項目に進みます。
8. 「時」と読み上げます。現在の「時」を数字キーで入力してください。下矢印を押すと次の項目に進みます。
9. 「分」と読み上げます。現在の「分」を数字キーで入力してください。下矢印を押すと次の項目に進みます。
10. 「国際日付変更線」と読み上げます。日本で使用する場合は「大阪/札幌/東京」を左右矢印で選択してください。下矢印を押すと次の項目に進みます。
11. 「夏時間」のある地域を選択した場合、夏時間を使用するかどうかの設定が表示されます。左右矢印で設定してください。下矢印を押すと次の項目に進みます。※日本の設定では表示されません。
12. ブレイズがインターネットに接続されている場合、「同期」と読み上げます。左右矢印で「はい」と「いいえ」を切替えます。「はい」でOKを押すとタイムサーバに接続して日付と時刻を自動設定します。本来、インターネットに接続した場合、自動的にタイムサーバと同期しますので、この操作は不要ですが、万が一誤差がある場合に手動で同期するための機能です。

「同期」を使う場合、他の項目の設定は不要です。下矢印を押すと次の項目に進みます。

1. 「月」と読み上げて最初の設定項目に戻ります。すべての設定に間違いがなければ、「OK」ボタンを押して設定を保存してください。

設定を保存しない場合は「キャンセル」ボタンを押してください。保存せずにオプションメニューに戻ります。

## 15.6 Bluetooth設定

Bluetooth接続を使って、ヘッドホンやスピーカーにブレイズの音声を出力することが可能です。

※注意：無線LANとBluetoothが同時に動作している場合、ブレイズの機能が低下する場合があります。

### 15.6.1 Bluetoothのオン/オフ切り替え

以下Bluetoothをオンまたはオフにする手順です。

1. ホームメニューのオプション開き、上下矢印を押して「Bluetooth設定」を選んでください。
2. 「OK」ボタンを押すと「Bluetooth設定」ダイアログボックスが開きます。
3. Bluetoothの状態が表示されます。左右矢印を使用して、オンとオフを切り替える事ができます。
4. 「OK」を押して設定を保存します。

「キャンセル」ボタンを押すと設定をキャンセルし、オプションメニューに戻ります。

### 15.6.2 Bluetoothヘッドセットまたはスピーカーの接続

1. Bluetoothヘッドセットまたはスピーカーと接続する前に、まずBluetoothデバイスを見つける必要があります。以下Bluetoothオーディオデバイスを検索する手順です。
2. 接続したいBluetoothオーディオデバイスを検出モードにしてください。デバイスを検出モードにする方法については、ヘッドセットまたはスピーカーのマニュアルを参照してください。
3. ホームメニューからオプションメニューを開き、上下矢印を押してBluetooth設定に移動してください。
4. 「OK」ボタンを押して、「Bluetooth設定」ダイアログボックスを開きます。
5. Bluetoothがオフの場合は、左右矢印を押して「オン」に設定してください。
6. 「オン」の状態で下矢印を押すとBluetoothオーディオデバイスの検索を開始します。進行中のビープ音が鳴り、検索が進行中であることを知らせます。
7. 検索が完了すると、使用可能なBluetoothオーディオデバイスのリストが表示されます。利用可能なデバイスが2つ以上ある場合は、左右矢印を使用して、接続先のデバイスを選択してください。
8. 接続したい機器名を読み上げた状態で「OK」ボタンを押してください。接続が成功すると、接続音が鳴り、接続したBluetoothヘッドセットまたはスピーカーに音声が出力されます。

設定を中断する場合は、キャンセルボタンを押してください、オプションメニューに戻ります。

### 15.6.3 Bluetoothヘッドセットまたはスピーカーの取り外し。

以下Bluetoothデバイスとの接続を切断する手順です。

1. ホームメニューからオプションメニューを開き、上下矢印を押してBluetooth設定に移動してください。
2. 「OK」ボタンを押して、「Bluetooth設定」ダイアログボックスを開きます。
3. Bluetoothがオフの場合は、左右矢印を押して「オン」に設定してください。
4. 「オン」の状態で下矢印を押すとBluetoothオーディオデバイスの検索を開始します。進行中のビープ音が鳴り、検索が進行中であることを知らせます。
5. 検索が完了すると、使用可能なBluetoothオーディオデバイスのリストが表示されます。
6. 接続を削除したいデバイス名を読み上げた状態でキャンセルボタンを5秒間押し続けてください。デバイスが切断され、Bluetoothプロファイルが削除されます。
7. キャンセルボタンを押して「Bluetooth設定」ダイアログボックスを閉じ、オプションメニューに戻ります。

## 15.7 無線LAN設定

無線LANの状態確認、無線LANのオン/オフ、プロファイルの接続と削除の方法について説明します。無線LANを使用すると、以下のブレイズ ETの機能が使用できます。

1）タイムサーバと同期し、日付と時刻を自動設定機能

2）Webラジオへのアクセス機能

3）Podcastの購読とダウンロード機能

5）サピエオンラインにアクセスして図書データのダウンロード機能

※注意：無線LANとBluetoothが同時に動作している場合、ブレイズの機能が低下する場合があります。

### 15.7.1無線LANの状態を確認する。

「情報」ボタンを押すことで無線LANの接続状態が通知されます。

また、オプションメニューの無線LAN設定でも状態を確認することができます。ブレイズ は、無線LANがオンかオフか、オンの場合接続しているネットワーク名を通知します。

### 15.7.2無線LANのオン/オフを切り替える。

サピエオンラインやWebラジオ、Podcast等、ネットワークが必要な機能を使用するためには無線LANをオンにしてネットワークに接続する必要があります。以下、無線LANをオンにする手順です。

1. ホームメニューからオプションを開き、上下矢印を使用して「無線LAN設定」を選択し「OK」を押してください。
2. ネットワーク設定ダイアログボックスが表示されます。左右矢印を使用して、無線LANのオンとオフを切り替える事ができます。
3. 「OK」を押して設定を保存してください。

過去に接続したことのあるネットワークが付近にある場合、ブレイズは無線LANがオンになると、自動的に検出して接続します。無線LANを使用しない時は、無線LANをオフにしておくと、バッテリーの消耗を抑えることができます。

### 15.7.3無線LANネットワークへの接続。

以下無線LANネットワークに接続する手順です。

1. ホームメニューからオプションを開き、上下矢印を使用して「無線LAN設定」を選択し「OK」を押してください。
2. ネットワーク設定ダイアログボックスが表示されます。左右矢印を使用して、「オン」を選択してください。
3. 下矢印を押すと、使用可能な無線LANのリストを表示します。
4. 左右矢印を使用して使用可能な無線LANを選択することができます。選択するとネットワーク名、信号強度、およびセキュリティについて通知されます。接続したいネットワーク名を選択してください。
5. 接続したいネットワーク名を読み上げたところで「OK」ボタンを押してください。セキュリティキーが不要の場合、ブレイズは選択したネットワークに接続します。セキュリティキーが必要な場合はパスワード編集ボックスが表示されます。
6. 数字キーを使ってセキュリティキーを正確に入力してください。

※無線LANの機器によって「暗号化キー」、「ネットワークキー」、「パスワード」など呼び方が異なる場合がありますが同じ意味で使用されます。

1. セキュリティキーを入力したらOKボタンを押してください。
2. 接続に成功するとブレイズはネットワークに接続されたことを通知し、オプションメニューに戻ります。ネットワークに接続できない場合は、「接続に失敗しました」と通知され、無線LANネットワークのリストに戻ります。

接続設定をキャンセルする場合は、キャンセルボタンを押してください。

### 15.7.4無線LANプロファイルの削除

以下、不要になった無線LAN設定を削除する手順です。

1. ホームメニューからオプションを開き、上下矢印を使用して「無線LAN設定」を選択し「OK」を押してください。
2. ネットワーク設定ダイアログボックスが表示されます。左右矢印を使用して、「オン」を選択してください。
3. 下矢印を押すと、使用可能な無線LANのリストを表示します。
4. 左右矢印を使用して無線LANを選択することができます。選択するとネットワーク名、信号強度、およびセキュリティについて通知されます。設定を削除したいネットワーク名を選択してください。
5. 設定を削除したいネットワーク名を読み上げたところで「キャンセル」ボタンを2秒以上長押ししてください。ブレイズは「プロファイルの削除完了」と読み上げます。そのネットワークに接続中の場合、接続を切断してプロファイルを削除します。

## 15.8 バッテリー状態確認

項目に移動した際に、バッテリーの充電率と、ACアダプタの接続状態を通知します。

## 15.9 システムの状態確認

システムの状態確認では、ブレイズ ETに関する基本情報を確認できます。

ホームメニューからオプションを開き、上下矢印を使用して「システムの状態を確認」を選択し「OK」を押してください。

以下の情報を確認できます。

1. ファームウェアのバージョン。
2. ビルドの日付
3. キー番号
4. 内蔵フラッシュディスクの総容量
5. 内蔵フラッシュディスクの空き容量
6. SDカードの総容量
7. SDカードの空き容量
8. MACアドレス（インターネット接続時のみ表示）

項目間を移動するには、上下矢印を使用します。 左右矢印を押すと、各項目を1文字ずつ確認することができます。

情報の確認が終了したら、「キャンセル」ボタンを押すと終了します。

# 16 お問い合わせ

ブレイズに関するお問い合わせは以下の有限会社エクストラ技術サポートまでお願いします。

有限会社エクストラ

技術サポート電話番号：

054-368-6887

※電話の受付時間は平日10時-12時、13時-17時です。

Eメール：

tech@extra.co.jp

424-0886

静岡県静岡市清水区草薙一丁目19-11

URL：http://www.extra.co.jp/